パソコン用会計ソフト「ブルーリターンＡ」

事務局指導用Ｑ＆Ａ
（2014年１月２２日改訂版）

全国青色申告会総連合
株式会社ゼンアオイロ

目　次

１．ブルーリターンＡ導入前確認　4

Ｑ１　インストール前の動作環境のポイントは？　4

Ｑ２　サービスパックの確認と引き上げの方法は？　4

２．ブルーリターンＡインストール関連　5

Ｑ３　インストール中に注意すべきことは何か？　5

Ｑ４　ブルーリターンＡと同時にインストールされるソフトは何か？（初回インストールの場合）　5

Ｑ５　インストールに要する時間は？　6

Ｑ６　バージョンアップ版ソフトのインストールに要する時間は？　6

Ｑ７　アンインストールの手順は？　6

Ｑ８　ブルーリターンＡソフトのインストール中に、「不審なスクリプトが検出されました。」と出て、そこに「このスクリプトを停止する・今回スクリプト全体を許可する・詳細情報を調べる・メッセージを閉じて作業を続ける」という選択肢が出ました。「許可する」を選択して、進んでいいのでしょうか？　6

Ｑ９　ノートンの「悪質なスクリプトを検出されました。」というメッセージが表示される。どうすればいいか？　6

３．ブルーリターンＡデータ関連　7

Q10 体験版から製品版へのデータ移行の手順は？　7

Q11 単年度版から製品版へのデータ移行の手順は？　7

Q12 会計年データの保存場所はどこか？　7

Q13 事務局のパソコンに指導したデータファイルがたくさんある。データを効率的に検索する方法は？　8

Q14 事務局のパソコンで指導した会員データを上手に管理する方法は？　8

Q15 旧 BRA で作成した会計データをブルーリターンＡで使用するには？　8

Q16 旧 BRA で作成した、2010 年以前の会計データをブルーリターンＡで使用できるか？　8

４．ブルーリターンＡの使い方関連　9

Q17 パソコンを買い替えた場合に新パソコンへデータを移行する手順は？　9

Q18 ブルーリターンＡのエディションとバージョン情報の確認方法は？　9

Q19 キーコードの発行方法は？　10

Q20 パソコン上で削除してはいけないファイルやフォルダはありますか？　12

５．トラブルシューティング 13
Q21 インストールを開始したところ、３回の使用許諾契約の同意後のインストール開始直後にエラーが発生し、「動作を停止しました」というメッセージが出る。対処方法は？ 13
Q22 インストールを開始したところ、途中で「システムコンポーネントエラー」というメッセージが出て、インストールができない。対処方法は？ 15
Q23 インストールを開始したところ、途中で下記のようなメッセージが出て、インストールができない。対処方法は？ 17
Q24 ブルーリターンＡを使おうと思い、起動したところ、「初期設定から事業情報の設定を行ってください。」と出て、データが消えてしまった。どうしたらいいか？ 18
Q25 ブルーリターンＡの体験版をインストールして起動したら、「システムエラーが発生しました」と出て、起動しない。対処方法は？ 20
Q26 ブルーリターンＡを起動したところ、「初期設定から事業情報の設定を行ってください。」と表示され、データが出てこない。対処方法は？ 20
Q27 ブルーリターンＡを起動したところ、「該当データが存在しません」と表示され、データが出てこない。対処方法は？ 21
Q28 A27 の手順でデータを開こうとすると、「データファイルの読み込みに失敗しました。ファイルのパス・ファイル名・アクセス権限を確認してください。」や「データファイルの読み込みに失敗しました。」というメッセージが表示され、データが開かない。対処方法は？ 21
Q29 インストールを開始したところ、途中で「トロイの木馬を検知しました」というメッセージが出て、インストールができない。対処方法は？ 24
Q30 アイコンをダブルクリックすると、「パラメータが間違っています」というメッセージが表示される。対処方法は？ 25

参考資料１　Microsoft .NET Framework 4 のインストール方法 27
参考資料２　SAP Crystal Reports のインストール方法 30
参考資料３　Microsoft SQL Server Compact のインストール方法 34
参考資料４　ウィルス対策ソフトの例外設定について 38
参考資料５　Avast!一時停止手順 44
参考資料６　AVG 一時停止手順 45
参考資料７　ATOK のプロパティ設定変更について 47
参考資料８　Windows8.1 / 8 ソフト終了時・データ復元時システムエラー 49

１　ブルーリターンＡ導入前確認

Ｑ１．インストール前の動作環境のポイントは？

Ａ１．ブルーリターンＡを導入するパソコンが以下の動作保障環境を満たしていることを確認してください。

下記保証環境を満たすパソコンであれば、メーカーを問わずご利用になれます。

<table>
<tr><th>基本ソフト（ＯＳ）</th><th>サービスパック</th><th>６４／３２bit</th><th>メモリサイズ</th><th>ハードディスク
空き容量</th></tr>
<tr><td>Windows ８．１ / ８
(Windows RT を除く）※</td><td rowspan="2">―</td><td rowspan="3">６４／３２bit</td><td rowspan="2">６４bit:２ＧＢ以上
３２bit:２ＧＢ以上</td><td rowspan="4">インストール時に最大１．３ＧＢの空き容量が必要</td></tr>
<tr><td>Windows ７</td></tr>
<tr><td>Windows Vista</td><td>ＳＰ２</td><td>１ＧＢ以上</td></tr>
<tr><td>Windows ＸＰ※</td><td>ＳＰ３</td><td>３２bit</td><td>５１２ＭＢ以上
（推奨:１ＧＢ以上）</td></tr>
</table>

※ いずれも１ＧＨｚ以上のプロセッサを搭載した日本語対応版のみ動作します。

※ Windows ８．１ / ８のタッチパネル機能およびWindows RT は動作保証の対象外です。

※ Windows XP は、2014 年 4 月 9 日以降は、動作保証の対象外となります。

Ｑ２　サービスパックの確認と引き上げの方法は？

Ａ２．ご利用のパソコンが、Windows　２０００以前のＯＳである場合は、Windows　ＸＰ、Ｖｉｓｔａ、７、８、８．１のパソコンをご用意いただく必要があります。

Windows　ＸＰまたはＶｉｓｔａのパソコンでサービスパックの引き上げが必要な場合は、ブルーリターンＡホームページから作業できます。

なお、Windows　ＸＰの場合、2014 年 4 月 9 日以降は動作保証の対象外となりますので、ご注意ください。

○ Windows　ＸＰ

・「サービスパックの表記がない」方

⇒サービスパック２、サービスパック３の順にインストール

・「サービスパック１」また「サービスパック２」の方

⇒サービスパック３をインストール

○ Windows　Ｖｉｓｔａ

・「サービスパックの表記がない」方

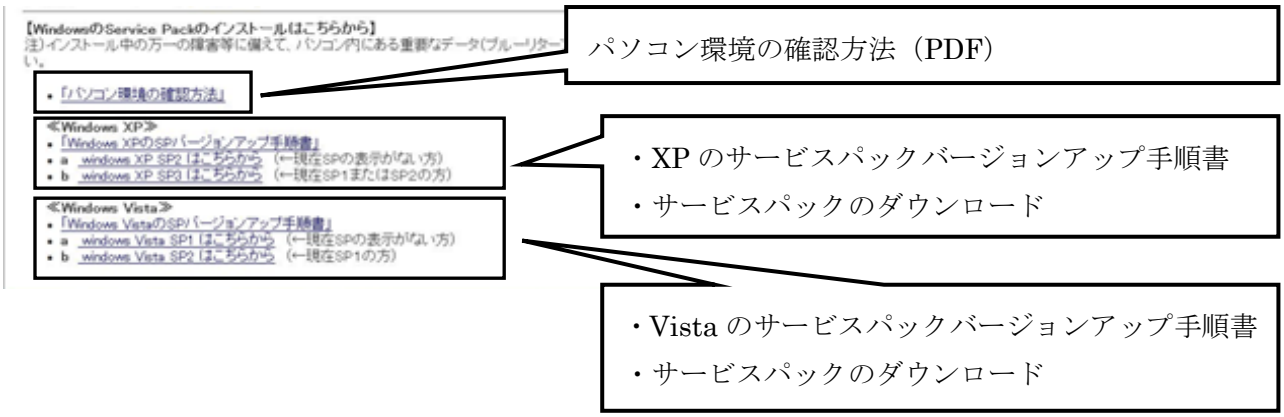
⇒サービスパック１、サービスパック２の順にインストール

・「サービスパック１」の方

⇒サービスパック２をインストール

手順については会員向けホームページのトップページに掲載しています。

次頁の図をご参照ください。

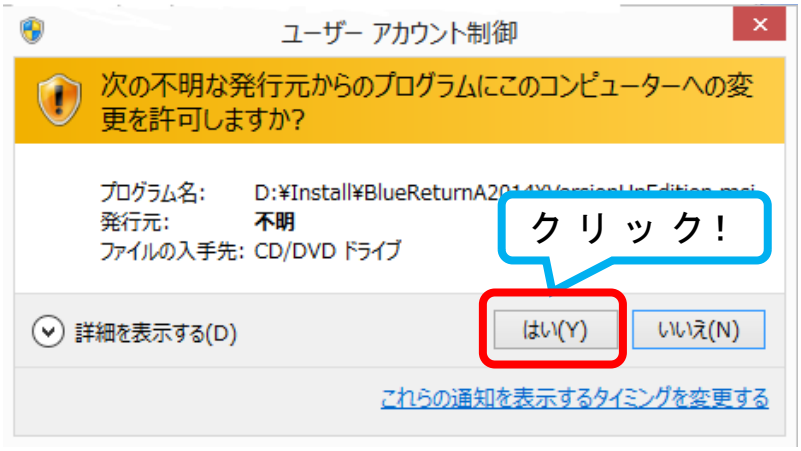


※インターネットをご利用にならない方には、ＵＳＢ等に上記プログラムを保存して貸与してください。

２　ブルーリターンＡインストール関連

Ｑ３．インストール中に注意すべきことは何か？

Ａ３．①パソコンのＯＳがＶｉｓｔａ、７、８、８．１の場合は、インストールの途中で『ユーザーアカウント制御』が表示されます。
一定時間メッセージに応答しないとインストールが中断されます。必ず「許可」（「続行」や「はい」の場合もあります）をクリックしてください。



②ウィルス対策ソフトによっては、ブルーリターンＡのインストールが失敗することがあります。その場合は、ウィルス対策ソフトを一時的に無効にしてください。

Ｑ４．ブルーリターンＡと同時にインストールされるソフトは何か？（初回インストールの場合）

Ａ４．次のソフトが順次インストールされます。

(1) Microsoft .NET Framework 4
ブルーリターンＡを動かす基盤となるソフトです。なお、Windows　８、８．１では、このソフトのインストールはスキップされます。

(2) SAP Crystal Reports
各種帳票を作成・印刷するためのソフトです。

(3) Microsoft SQL Server Compact3.5 SP2
ブルーリターンＡのデータファイルを作成するソフトです。

(4) ブルーリターンＡ
ブルーリターンＡソフトです。

Ｑ５．インストールに要する時間は？

Ａ５．Ｑ４のソフトすべてをインストールする場合、平均で２０～３０分程度かかります。
各ソフトにおいては、下記の時間を目安にしてください。

(1) Microsoft .NET Framework 4･･･約１５分
(2) SAP Crystal Reports･･･約５分
(3) Microsoft SQL Server Compact 3.5 SP2･･･約１分
(4) ブルーリターンＡ･･･約１分

Ｑ６．バージョンアップ版ソフトのインストールに要する時間は？

Ａ６．旧版ソフトがインストールされている場合、ブルーリターンＡ本体のインストールのみとなるため、使用許諾を含め３分程度で完了します。

Ｑ７　アンインストールの手順は？

Ａ７．次の手順で行ってください。

(1) 「スタート」をクリックし、「コントロールパネル」を開いて、「プログラムのアンインストール（プログラムと機能）」を開く。
(2) 次のソフトをクリックして「アンインストール」を次の順に実行する。
　ｉ）Microsoft .NET Framework 4 Extended
　ⅱ）Microsoft .NET Framework 4 Client Profile
　ⅲ）Microsoft SQL Server Compact 3.5 SP2 JPN
　ⅳ）SAP Crystal Reports runtime engine for .NET Framework 4 (32-bit)
　ｖ）ブルーリターンＡ
　※Windows　８．１／８のパソコンでは、ｉとⅱのソフトのアンインストール作業はスキップしてください。

Ｑ８　ブルーリターンＡソフトのインストール中に、「不審なスクリプトが検出されました。」と出て、そこに「このスクリプトを停止する・今回スクリプト全体を許可する・詳細情報を調べる・メッセージを閉じて作業を続ける」という選択肢が出ました。「許可する」を選択して、進んでいいのでしょうか？

Ａ８．このメッセージが表示されるのは、ソフトのインストールがセキュリティソフトによって止められているためです。ですから、「許可する」を選択し、進んでください。

Ｑ９　ノートンの「悪質なスクリプトを検出されました。」というメッセージが表示される。どうすればいいか？

Ａ９．このメッセージとともに表示される選択肢から、「スクリプト全体を許可する」を選択してください。
それでもインストールが完了しない場合は、ウィルス対策ソフトを一時的に停止し、その後再度インストールを行ってください。

３　ブルーリターンＡデータ関連

Q10　体験版から製品版へのデータ移行の手順は？

A10　次の手順で、会計データを移行してください。

(1) 体験版のソフトを起動する。

①デスクトップ画面の[体験版]のアイコンをダブルクリックし、ソフトを起動する。

②[51 データのバックアップ]をクリックする。

③「保存先を指定してバックアップ（ＵＳＢメモリを含む）」の右横の［設定]をクリックする。

④「デスクトップ」を保存先に指定し、［ＯＫ]をクリックする。

⑤保存先が表示されたら、［実行]をクリックする。

⑥『データのバックアップが完了しました』のメッセージが表示されたら、［ＯＫ]をクリックし、ソフトを終了する。

(2) 会員版のソフトを起動する。

①デスクトップ画面の[ブルーリターンＡ２０１３]のアイコンをダブルクリックし、ソフトを起動する。

②[52 データの復元]をクリックする。

③[参照]ボタンをクリックし、デスクトップを指定して[ＯＫ]をクリックする。

④一覧に表示されたデータの中から、復元するデータを選択し、[実行]をクリックする。

⑤[確定]をクリックする。

⑥[ＯＫ]をクリックして完了。

Q11　単年度版から製品版へのデータ移行の手順は？

A11　「体験版」を「単年度版」と読み替えて、A10 の(1)および(2)と同様の手順で行ってください。

Q12　会計年データの保存場所はどこか？

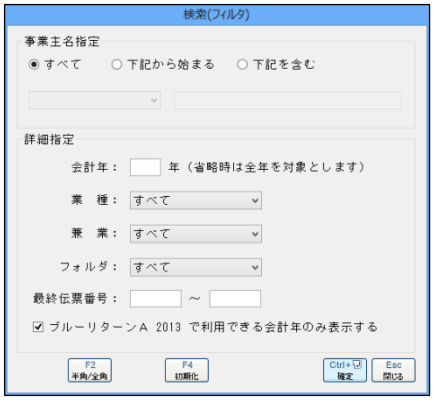
A12　ブルーリターンＡのデータの保存場所は、次のとおりです。

・ＸＰの場合：ローカルディスク（Ｃドライブ）－「マイドキュメント」－「BlueReturnA」－「Product」－「USER」－「DATA」

・Ｖｉｓｔａ、７、８、８．１の場合：ローカルディスク（Ｃドライブ）－ユーザー（あるいは「Users」）－「(ユーザー名）」－ドキュメント（あるいは「マイドキュメント」）－「BlueReturnA」－「Product」－「USER」－「DATA」

Q13　事務局のパソコンに指導したデータファイルがたくさんある。データを効率的に検索する方法は？

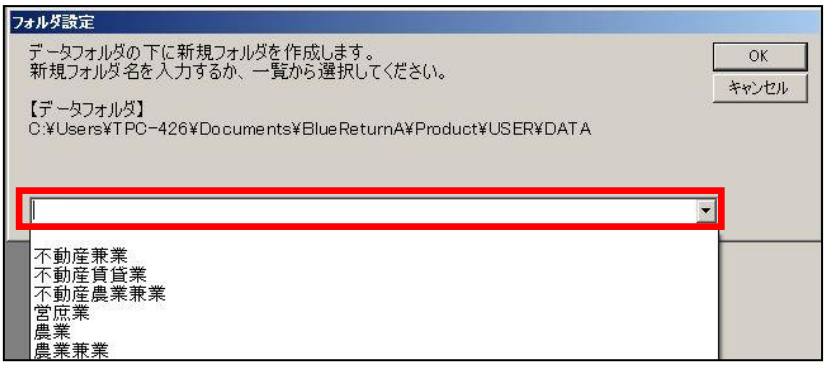
A13　[ファイル]→[開く]で表示される「データファイルの選択」画面に表示されたデータを[検索条件]から絞り込むことができます。



Q14　事務局のパソコンで指導した会員データを上手に管理する方法は？

A14　データの保管場所は、Q12 に示した通りです。この「DATA」フォルダ内には一階層でフォルダを作成することが可能です。データの新規作成時や復元時に、フォルダ分けてデータ管理を行うことができます。

↓



Q15　旧 BRA で作成した会計データを、現在のブルーリターンＡで使用するには？

A15　2010 年以前のデータコンバートはできませんので、従来と同様に、旧 BRA を起動して過去データを参照してください。

Q16　旧 BRA で作成した、2010 年以前の会計データをブルーリターンＡで使用できるか？

A16　現在はできません。

4　ブルーリターンＡの使い方関連

Q17　パソコンを買い替えた場合に新パソコンへデータを移行する手順は？

A17　次の手順で、移行を行ってください。

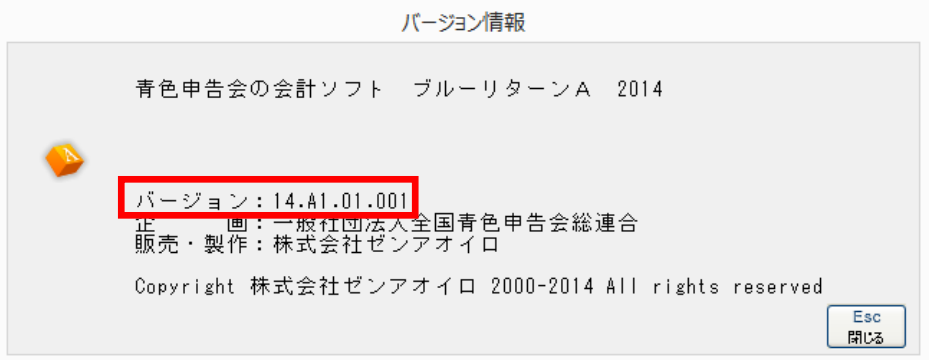
(1) 以前使用していたパソコンで、ＵＳＢメモリ等にバックアップを取る。

(2) 新規のパソコンに、ブルーリターンＡのソフトをインストールする。

(3) 新規のパソコンにバックアップを取ったメディアをセットしてソフトを起動し、[52 データの復元]で、データを復元する。

Q18　ブルーリターンＡのエディションとバージョン情報の確認方法は？

A18　確認方法は、[ヘルプ]→[バージョン情報]と開き、下記画面の四角で囲ったところを参照してください。



ブルーリターンＡのエディションは次のとおりです。

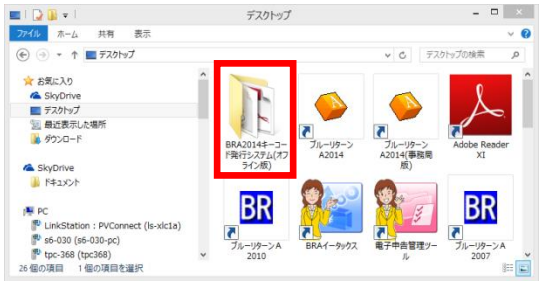
エディション名	プログラム名	バージョン番号
製品版	ブルーリターンＡ２０１４	14.A0.XX.XXX
バージョンアップ版	ブルーリターンＡ２０１４	14.A1.XX.XXX
単年版（記帳用）	ブルーリターンＡ２０１４単年版 （平成２６年分記帳用）	14.C3.XX.XXX
単年版（決算・申告用）	ブルーリターンＡ２０１４単年版 （平成２５年分決算・申告用）	14.B1.XX.XXX
体験版	ブルーリターンＡ２０１４（体験版）	14.D4.XX.XXX
事務局版	ブルーリターンＡ２０１４（事務局版）	14.A5.XX.XXX
記帳専用ソフト	ブルーリターンＡ２０１４（記帳専用）	14.E6.XX.XXX

Q19　キーコードの発行方法は？

A19　各事務局で、Biz ストレージファイルシェアから「(BRA) ユーザー所属会グループ」を開き、「ＢＲＡ２０１４キーコード発行システム（オフライン版）.zip」をクリックしてダウンロードし、インストールしてください。このソフトは、2014 年 12 月 31 日まで使用できます。なお、インターネット上での発行は、現在行っておりません。

＜インストール手順＞

１.シェアステージよりダウンロードしたフォルダを開く。

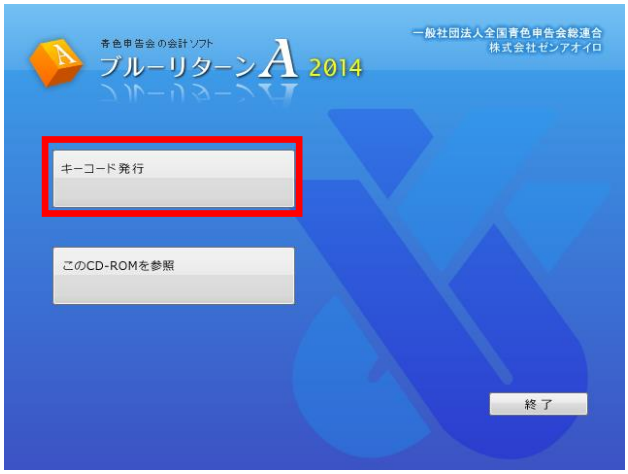


左記の画面が表示されます。
「キーコード発行ソフト２０１４（オフライン版）」フォルダをダブルクリックして開きます。

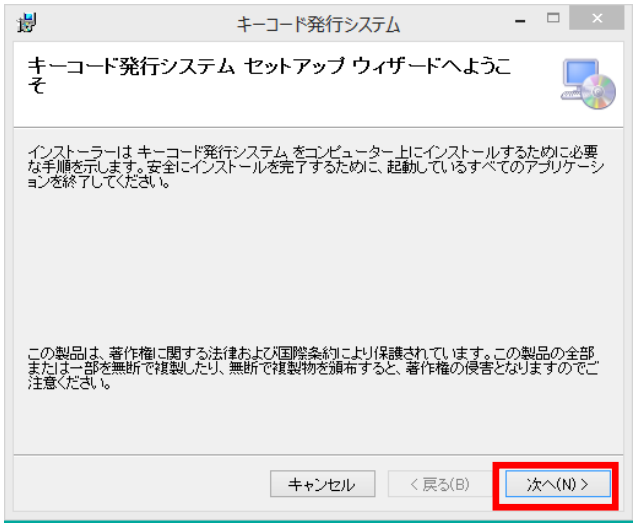
↓

左記の画面が表示されます。
［ＡＵＴＯＲＵＮ］をダブルクリックします。

２.［キーコード発行］をクリックする

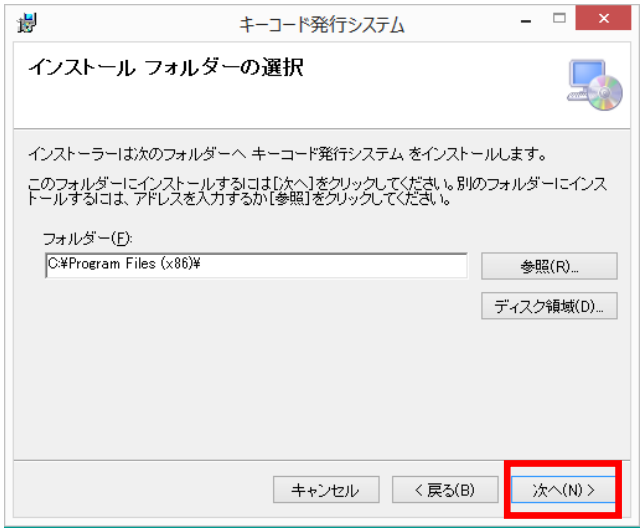


3.[次へ]をクリックする



※[キャンセル]をクリックすると、インストールを中断します。

4.[次へ]をクリックする

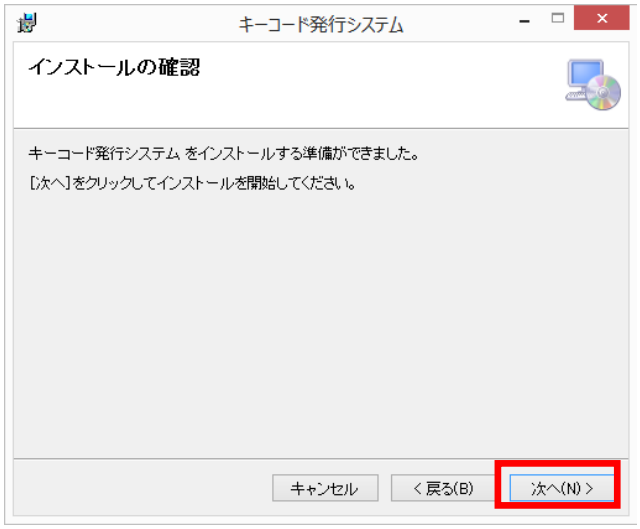


※ブルーリターンＡのインストール先を変更できます。[参照]をクリックしてインストール先のフォルダを指定します。

※[ディスク領域]をクリックすると、インストール可能なハードディスクのディスク容量とインストールに必要なディスク容量が表示されます。

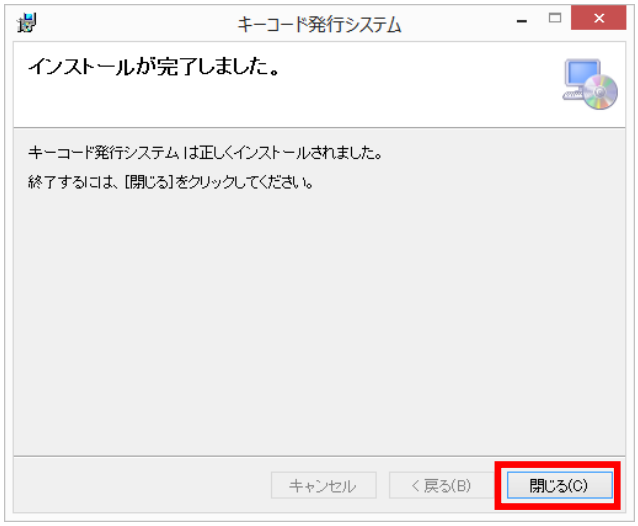
※[戻る]をクリックすると、１つ前の画面に戻ります。

5.[次へ]をクリックする



インストールが開始されます。

6.[閉じる]をクリックする



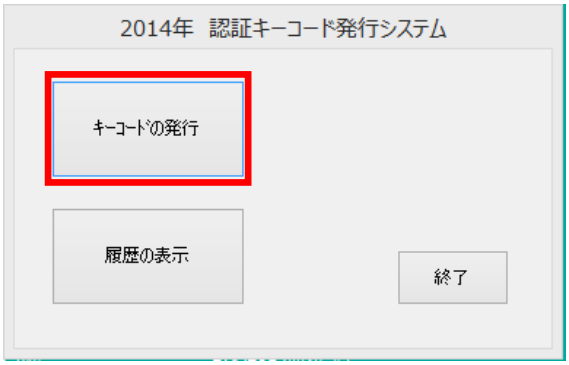
これでインストールは完了です。

※パソコンの再起動を促すメッセージが表示された場合は、画面の指示にしたがって再起動してください。

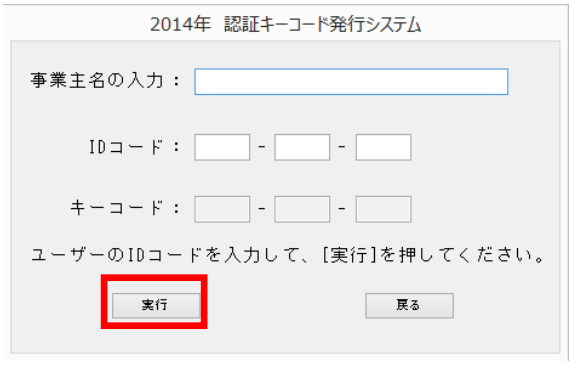
＜使用方法＞

1．下記のアイコンをダブルクリックする。

2．次の画面が出るので、「キーコードの発行」をクリックする。



3．下記の画面が出たら、ＩＤコードを入力し、「実行」をクリックする。キーコードが表示されます。



Q20　パソコン上で削除してはいけないファイルやフォルダはありますか？

A20　データの保管場所は「（マイ）ドキュメント」に固定されています。（マイ）ドキュメントの「BlueReturnA」フォルダ内には、会計年データのみならず、ソフトの動作に関する様々なファイル等が格納されています。（マイ）ドキュメントの「BlueReturnA」フォルダは絶対に削除や移動等をしないでください。

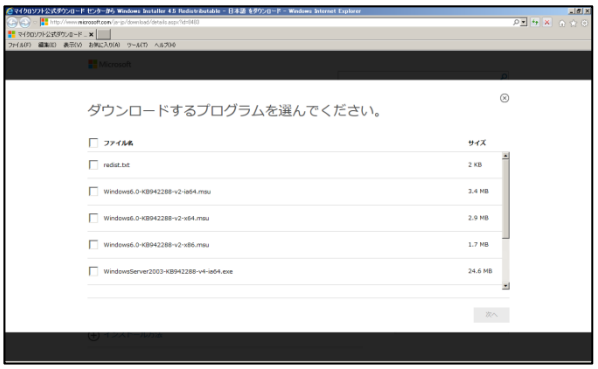
５　トラブルシューティング

Q21　インストールを開始したところ、３回の使用許諾契約の同意後のインストール開始直後にエラーが発生し、エラーメッセージとして「コンピュータ保護のため、インストールが中断しました。Windows Update」や、エラーメッセージの後半部分に日本語で、「データ実行防止機能（DEP）により動作を停止しました。」などの記載があるメッセージが表示される。対処方法は？

A21　下記のサイトにアクセスし、次のプログラムをダウンロードし、インストールしてください。

http://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=8483

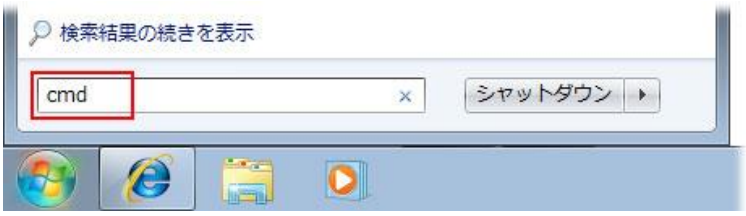
上記のＵＲＬをクリックすると、下記左側の画面が出ますので、［ダウンロード］をクリックすると、下記右側の画面に変わります。



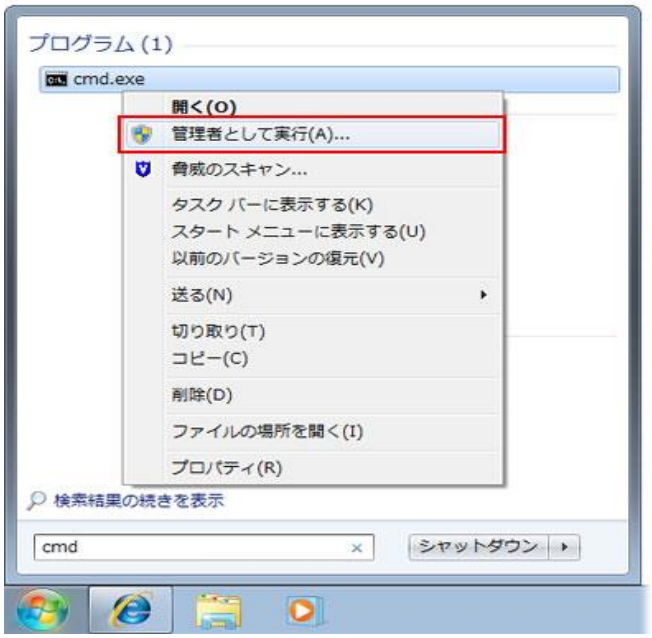
・ＯＳが Vista 64bit の場合･･･右画面で[Windows6.0-KB942288-v2-x64.msu]を選択
・ＯＳが Vista 32bit の場合･･･右画面で[Windows6.0-KB942288-v2-x86.msu]を選択
・ＯＳがＸＰの場合･･･右画面で[WindowsXP-KB942288-v3-x86.msu]を選択
して、右画面下の[次へ]をクリックして、ダウンロードとインストールを行います。
・ＯＳが７、８、８．１の場合･･･下記の手順で修復を行い、再度インストールを行ってください。

【手　順】

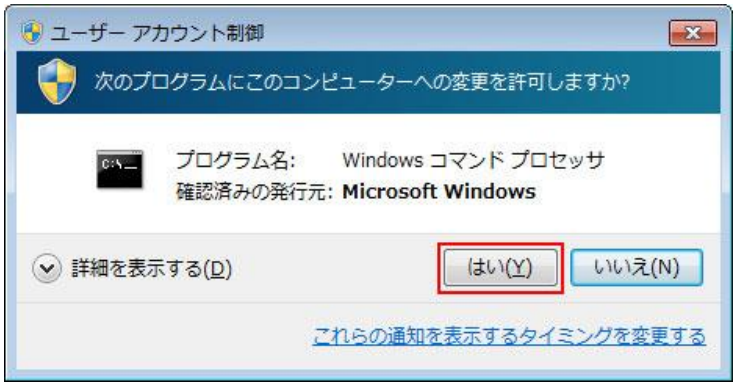
①すべてのアプリケーションを終了します。
②[スタート］メニューの［プログラムとファイルの検索］ボックスに「cmd」と入力します。<u>Enter キーは押さないでください。</u>



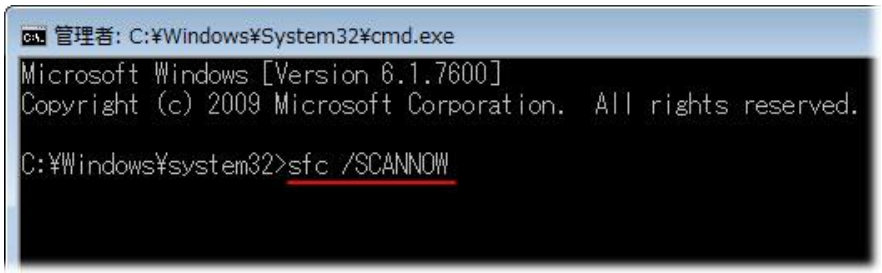
③[スタート] メニューに表示される [cmd.exe] を右クリックし、[管理者として実行] を選択します。



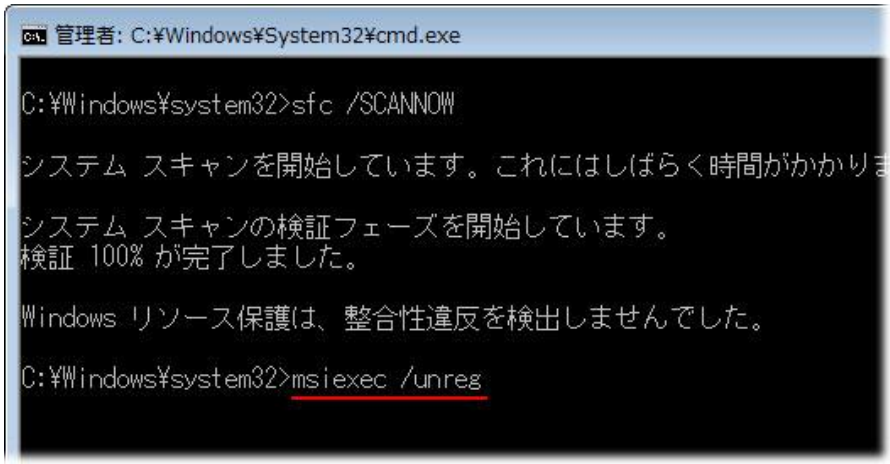
④[ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示されたら [はい] をクリックします。



⑤黒いコマンド入力の画面が表示されます。「sfc /SCANNOW」と入力し、Enter キーを押します。
注意：この処理には時間がかかる場合があります。また、処理の途中で、Windows のインストールディスクを要求されることがあります。詳細は、Microsoft 社、またはコンピューターの製造元にお問い合わせください.



⑥検証が完了したら「msiexec /unreg」と入力し、Enter キーを押します。
※　画面には何も表示されません。



⑦最後に、「msiexec /regserver」と入力し、Enter キーを押します。
※画面には何も表示されません。

⑧コマンドプロンプトのウィンドウを閉じます。

⑨（64 ビットのみ）［スタート］メニューの［検索の開始］テキストボックスに「**%windir%¥Syswow64¥Msiexec /regserver**」と入力し、Enter キーを押します。
※画面には何も表示されません。

⑩ Windows を再起動します。

Q22　インストールを開始したところ、途中で「システムコンポーネントエラー」というメッセージが表示されて、インストールができない。対処方法は？

A22　まず、次のことを確認した上で、個別インストールを行ってください。

【確認事項】

・コンポーネントエラーの発生した状況

メッセージボックスの「詳細」ボタンを押してもらい、発生しているコンポーネントの場所とインストールができていないものを確認します。

① Microsoft .NET Framework 4　で発生している場合

② SAP　Crystal Reports　runtime engine for .NET Framework 4 で発生している場合

③ Microsoft SQL Server Compact 3.5 SP2 JPN で発生している場合

・上記に該当する場合は、以下の内容で対処してください。
①で発生している場合。
・XP の場合:「スタートボタン」-「コントロールパネル」－「プログラムの　　追加と削除」から Microsoft .NET Framework 4　のインストール状況を確認します。
・Vista、７、８、８．１の場合：「スタートボタン」-「コントロールパネル」－「プログラムと機能」-「プログラムのアンインストール」から Microsoft .NET Framework 4　のインストール状況を確認します。

・以下の４プログラムがインストールされているか、確認します。
　ⅰ　Microsoft .NET Framework 4　Client Profile
　ⅱ　Microsoft .NET Framework 4　Client Profile　Language　pack 日本語
　ⅲ　Microsoft .NET Framework 4　Extended
　ⅳ　Microsoft .NET Framework 4　Extended　Language　pack 日本語
・上記４プログラムのうち、１つでもインストールされていない場合は、参考資料１（28 ページ）を参照し、インストールを行ってください。
その後、正常にインストールされた場合は、通常のブルーリターンＡのインストールから実行します。
・上記４プログラムが４本ともインストールされている場合②へお進みください。
※Windows ８．１ / ８では、ＯＳに.NET Framework 4.5 がすでに組み込まれているため、このソフトのインストールは行われません。また、「プログラムのアンインストール」にも表示されません。

②で発生している場合
・ＸＰの場合：「スタートボタン」-「コントロールパネル」－「プログラムの追加と削除」から　SAP　Crystal Reports　runtime engine for .NET Framework 4　のインストール状況を確認します。
・Vista、７、８、８．１の場合：「スタートボタン」-「コントロールパネル」－「プログラムと機能」-「プログラムのアンインストール」から　SAP　Crystal Reports runtime engine for .NET Framework 4　のインストール状況を確認します。
・以下のプログラムがインストールされているか、確認します。
SAP　Crystal Reports　runtime engine for .NET Framework 4
・インストールされていない場合は、参考資料２（31 ページ）を参照し、インストールを行ってください。
その後、正常インストールされた場合は、通常のブルーリターン A のインストールから実行します。
・インストールされている場合③へお進みください。

③で発生している場合
・ＸＰの場合：「スタートボタン」-「コントロールパネル」－「プログラムの追加と削除」から　Microsoft SQL Server Compact 3.5 SP2　JPN　のインストール状況を確認します。

・Vista、７、８、８．１の場合：「スタートボタン」-「コントロールパネル」－「プログラムと機能」-「プログラムのアンインストール」から　Microsoft SQL Server Compact 3.5 SP2　JPN　のインストール状況を確認します。

・以下のプログラムがインストールされているか、確認します。

Microsoft SQL Server Compact 3.5 SP2　JPN

・インストールされていない場合は、参考資料３（35 ページ）を参照し、インストールを行ってください。

その後、正常インストールされた場合は、通常のブルーリターンＡのインストールから実行します。

※すべてインストールされている場合は、全青色にお問い合わせください。

Q23.　インストールを開始したところ、途中で下記のようなメッセージが出て、インストールができない。対処方法は？

A23.　まず、ファイルシステムの確認を行ってください。

(1)　インターネットにつながる場合

① Yahoo なり Google などから検索キーワード、「FIX　IT　50181」で検索してもらう。

② 検索して最初に Hit した「Windows Media Player 11 を使用するときにプログラムが起動しない、または一部の UI 要素が空白になる」をクリックする。

③ クリックした先のマイクロソフトサポート画面で下へスクロールさせて、真ん中くらいにある、「Fix　It」「この問題を解決する」の「Fix　It」をクリックする。

④ MicrosoftFixIt50181.msi のダウンロードが始まるので、「実行」を選択する。
⑤ ダウンロードが終わったら、その後の動作を聞いてくるので、「実行」（Vista 7、8）「動作する」（XP）を選択する。
⑥ Fix　It のインストールが始まるので、ラインセンス条項の、「□同意する」にチェック（「レ同意する」）して「次へ」のボタンを押下する。
⑦ 「復元ポイントを作成しています。」が表示される。
⑧ 「Fix　It を処理しています。」が表示される。・ブルーリターン A を再度インストールしてもらう。

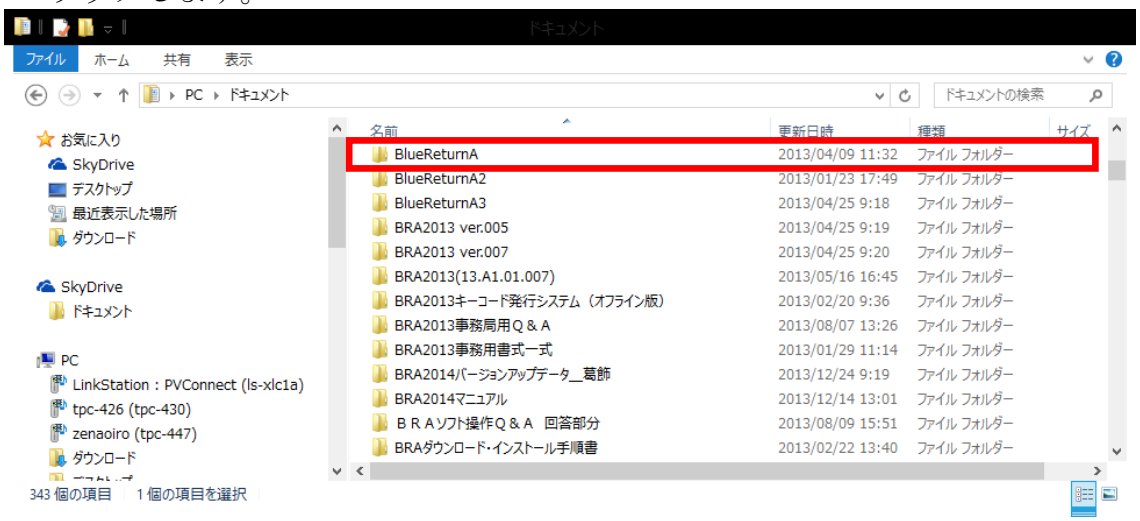
(2)　インターネットにつながらない場合

・事務局で、(1)のプログラムをＣＤやＵＳＢメモリなどに保存し、それをユーザーに渡してインストールを行う。

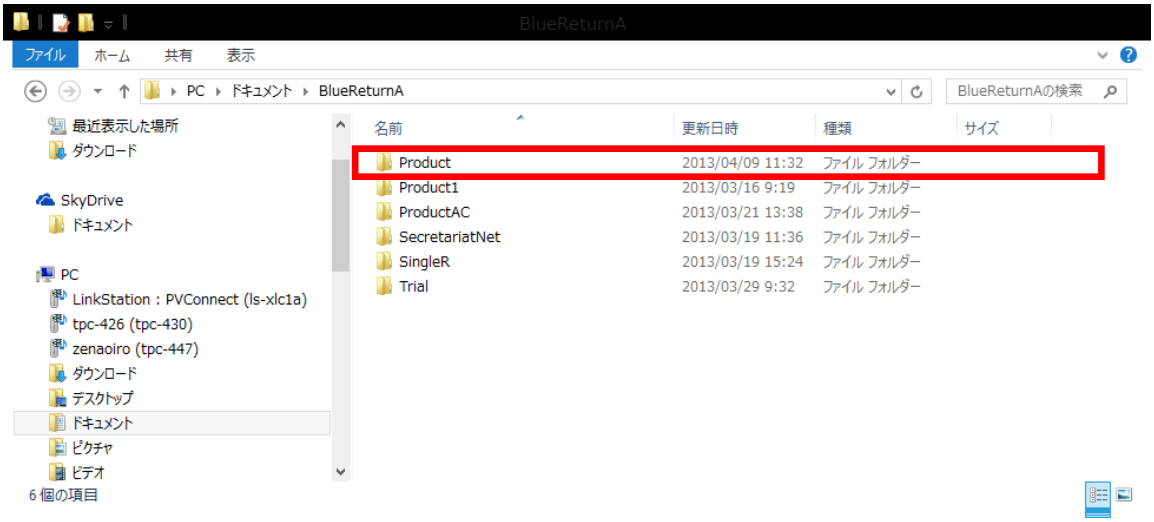
Q24.　ブルーリターンＡを起動しようとしたら、「システムエラーが発生しました」と表示されて起動しない。起動するには？

A24.　以下の手順をお試しください。

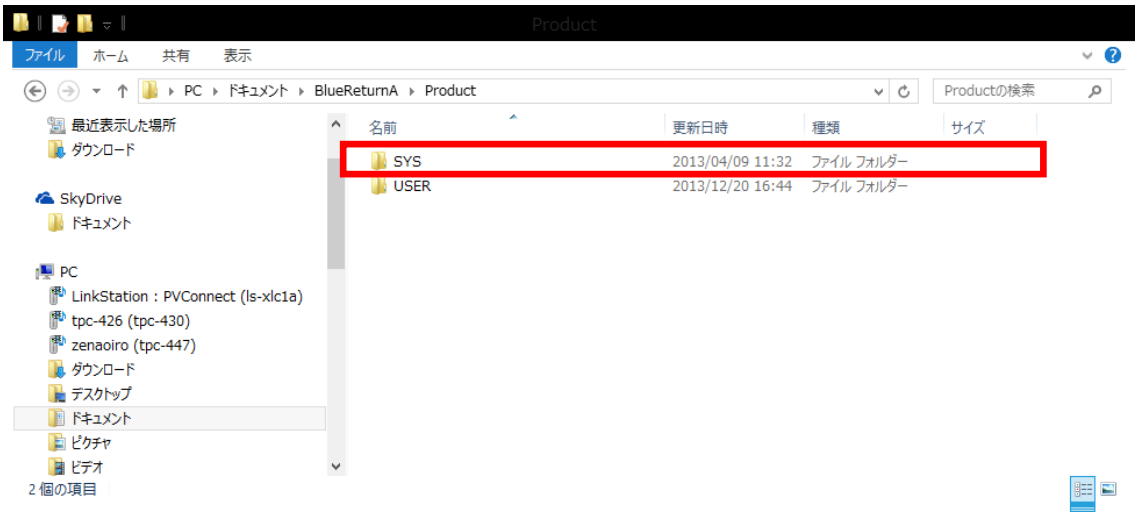
(1) マイドキュメント（ドキュメント）を開き、「BlueReturnA」フォルダをダブルクリックします。



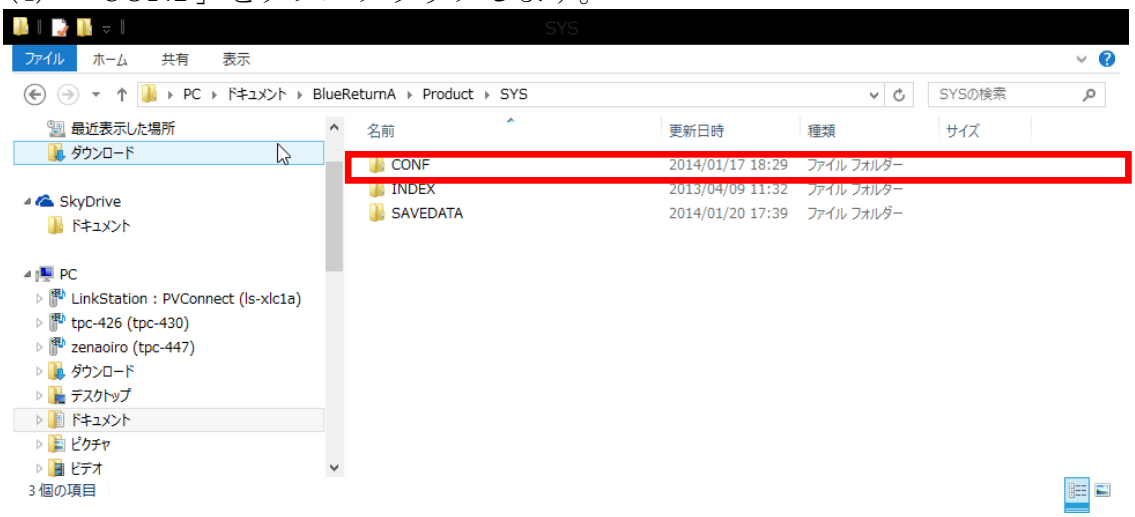
(2)　「Product」をダブルクリックします。



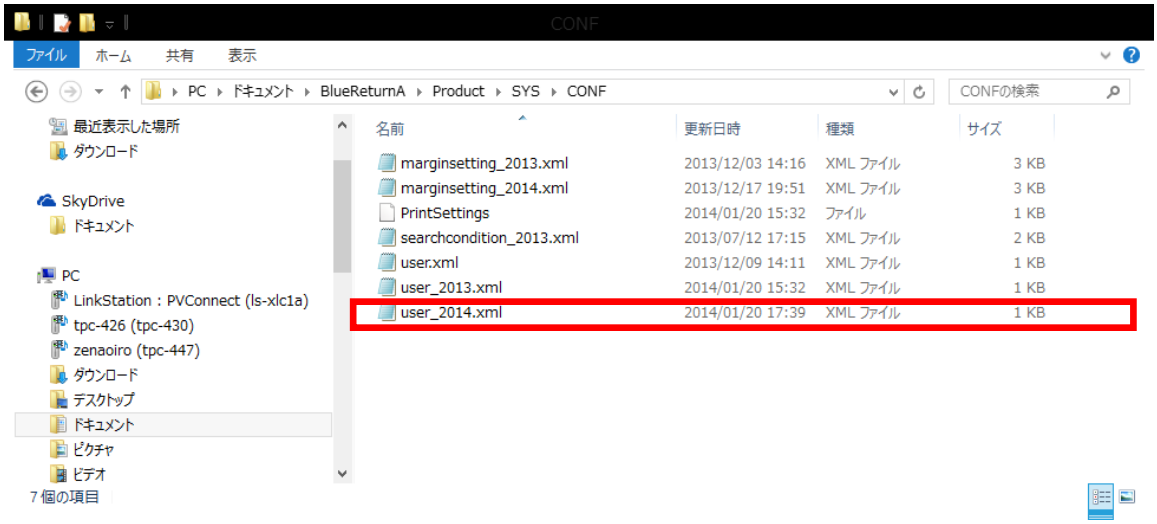
(3)　「SYS」をダブルクリックします。



(4)　「CONF」をダブルクリックします。



(5) 表示されたプログラムのうち、「user_2014.xml」を削除します。



(6) 再度ブルーリターンA2014 を起動しなおしてみてください。起動したら、
「ファイル→開く」でデータを指定して完了です。
※復元時にエラーが発生した場合は「DATA」フォルダ内を指定し復元してください。

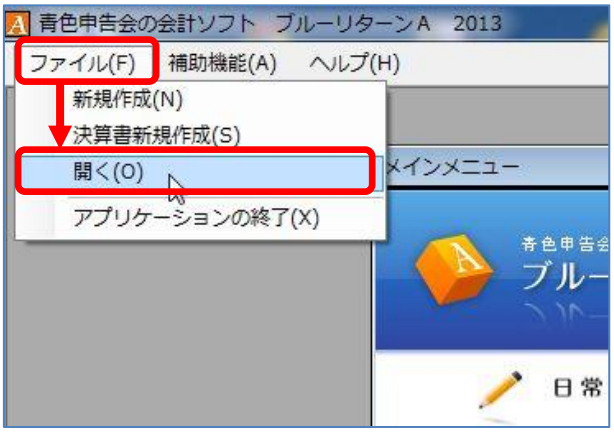
Q25. ブルーリターンＡの体験版をインストールして起動しようとしたら、「システムエラーが発生しました」と表示されて、起動しない。対処方法は？

A25. ブルーリターンＡの体験版は、ホームページにあるように、STEP1 で「Microsoft SQL Server Compact 3.5 Service Pack 2」をダウンロード・インストールし、その後 STEP2 で「ブルーリターンＡ体験版ソフト」をダウンロード・インストールするようになっています。この STEP1 が未了の場合、「システムエラーが発生しました」と表示されて、起動しません。

「コントロールパネル」から「プログラムと機能」を選択して、Microsoft SQL Server Compact 3.5 Service Pack 2 がインストールされているか確認し、されていない場合は、STEP1 からダウンロード・インストールしてください。

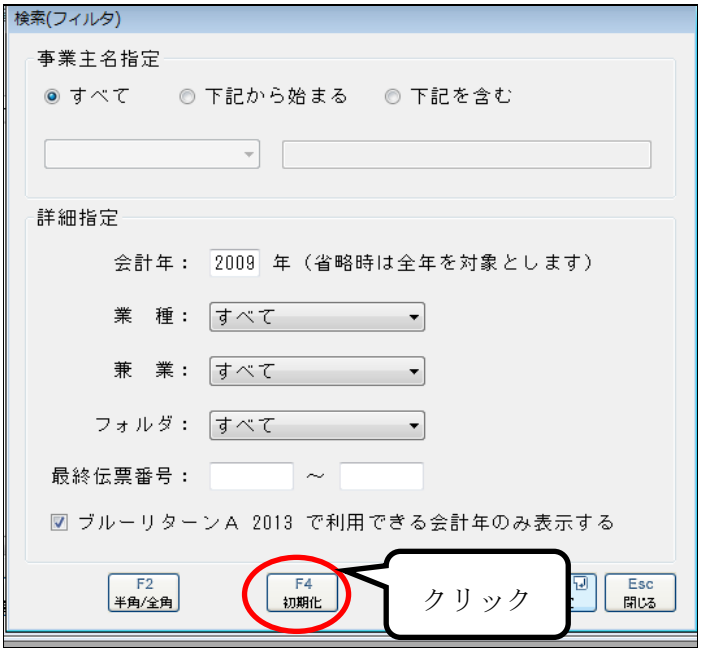
Q26. ブルーリターンＡを起動したところ、「初期設定から事業情報の設定を行ってください。」と表示され、データが出てこない。対処方法は？

A26. ［ファイル］→［開く］の手順でデータ一覧を開いて、見たいデータを指定し、［実行］をクリックして、データを読みこませてください。



Q27. ブルーリターンＡを起動したところ、「該当データが存在しません」と表示され、データが出てこない。対処方法は？

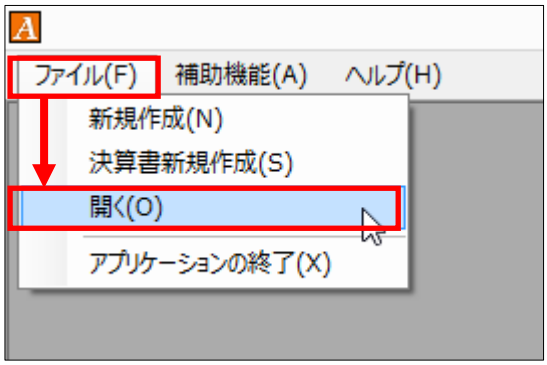
A27. ［ファイル］→［開く］の手順でデータを指定し、［F11　検索条件］をクリックして検索条件に詳細な条件が入っていないかを確認してください。条件画面に何か入っていたら、条件を初期化し再度「ファイルから開く」の作業を行ってください。



Q28. A27 の手順でデータを開こうとすると、「データファイルの読み込みに失敗しました。ファイルのパス・ファイル名・アクセス権限を確認してください。」や「データファイルの読み込みに失敗しました。」というメッセージが表示され、データが開かない。対処方法は？

A28. 次の手順で、新たにデータを復元してください。

（1）ブルーリターン A2014 を起動し、「ファイル」→「開く」をクリックします。

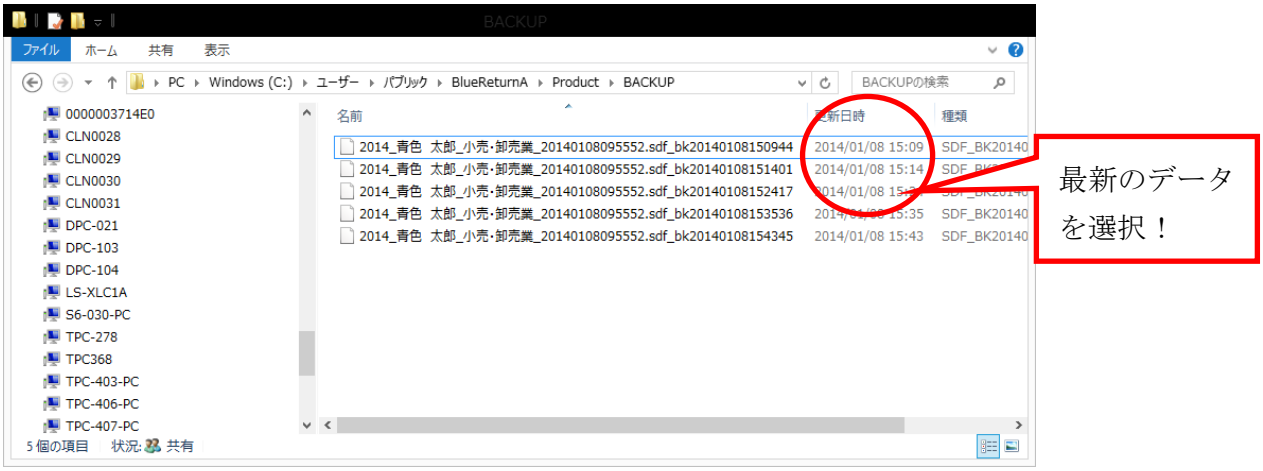


（2）読み込みに失敗したデータを選択し、「F5 削除」します。

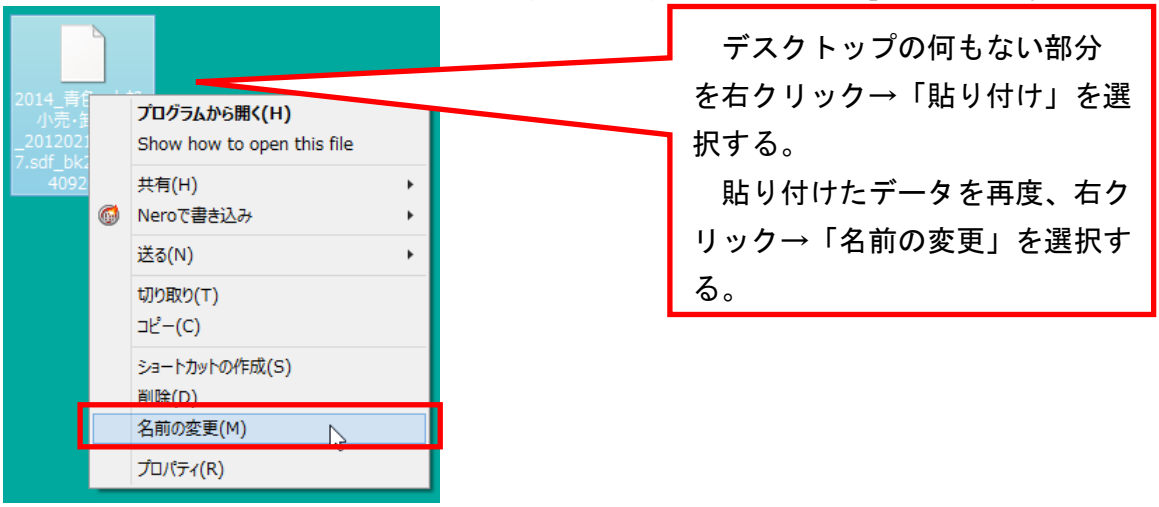
※削除が完了したら、「メニューへ」戻りブルーリターン A2014 を終了します。

（３）「（マイ）コンピュータ」→「Ｃドライブ」→「ユーザー（Users）」→「パブリック」→「BlueReturnA」→「Product」→「BACKUP」の順にダブルクリックして開きます。

（４）「BACKUP」内には同じデータが最大５件ずつあります。読み込みに失敗したデータの更新日時が最新のものを選択し、右クリック→「コピー」をします。
※画像は、2014_青色太郎のデータを例とします。

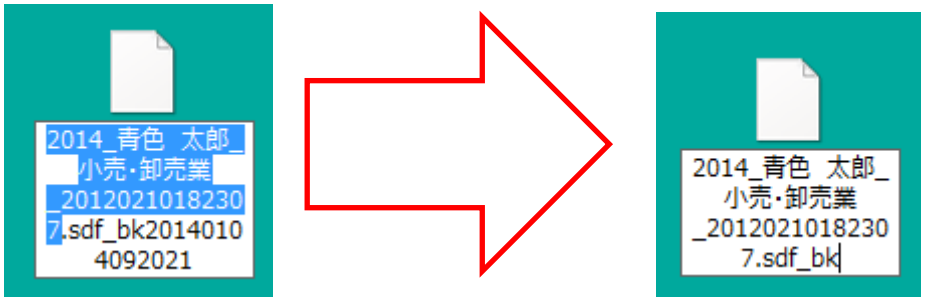


（５）コピーしたデータをデスクトップに貼り付け、「名前の変更」をします。

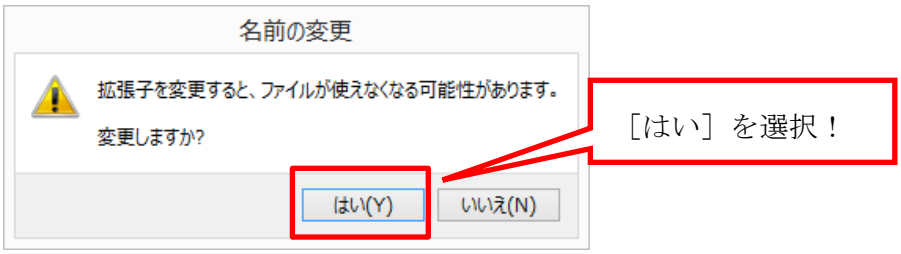


（６）ファイル名の「2013_青色 太郎_201204･･･.sdf_bk」以下の数字を削除し、拡張子を変更します。

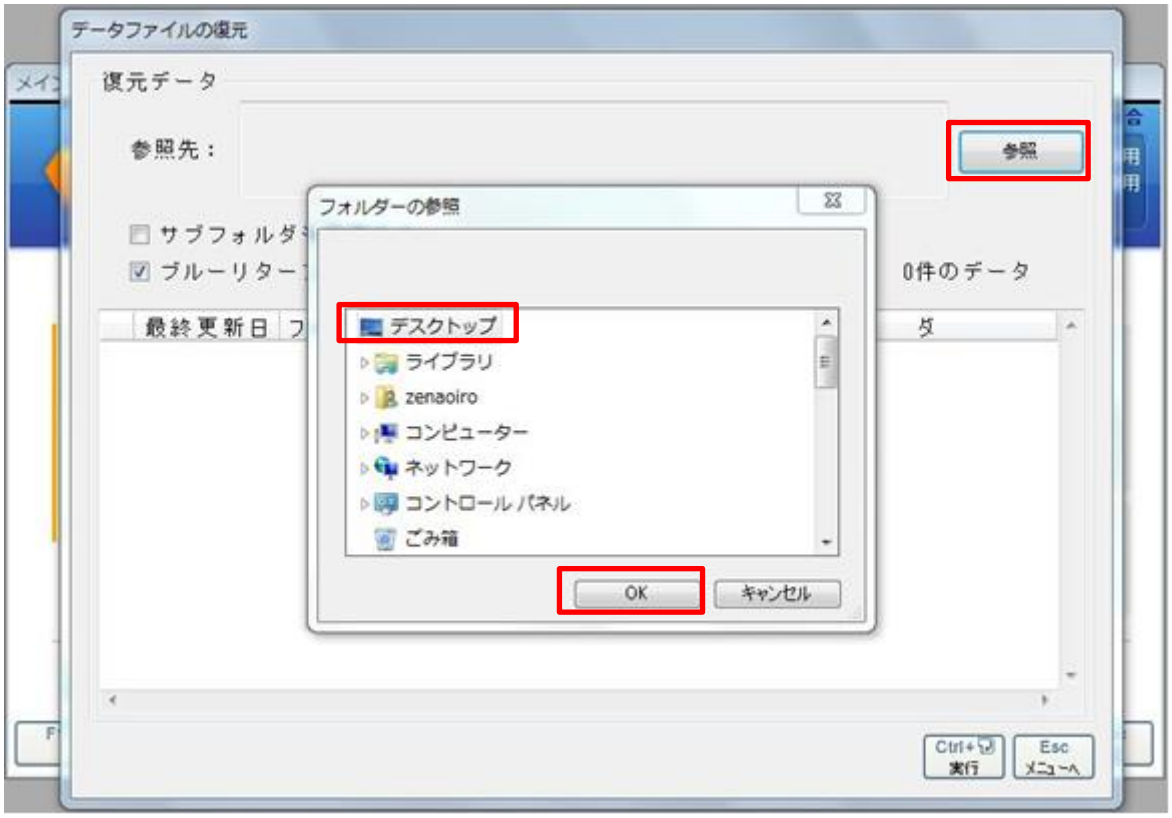
※「Enter」キーを押すと拡張子のメッセージが表示されるので、「はい」を選択します。



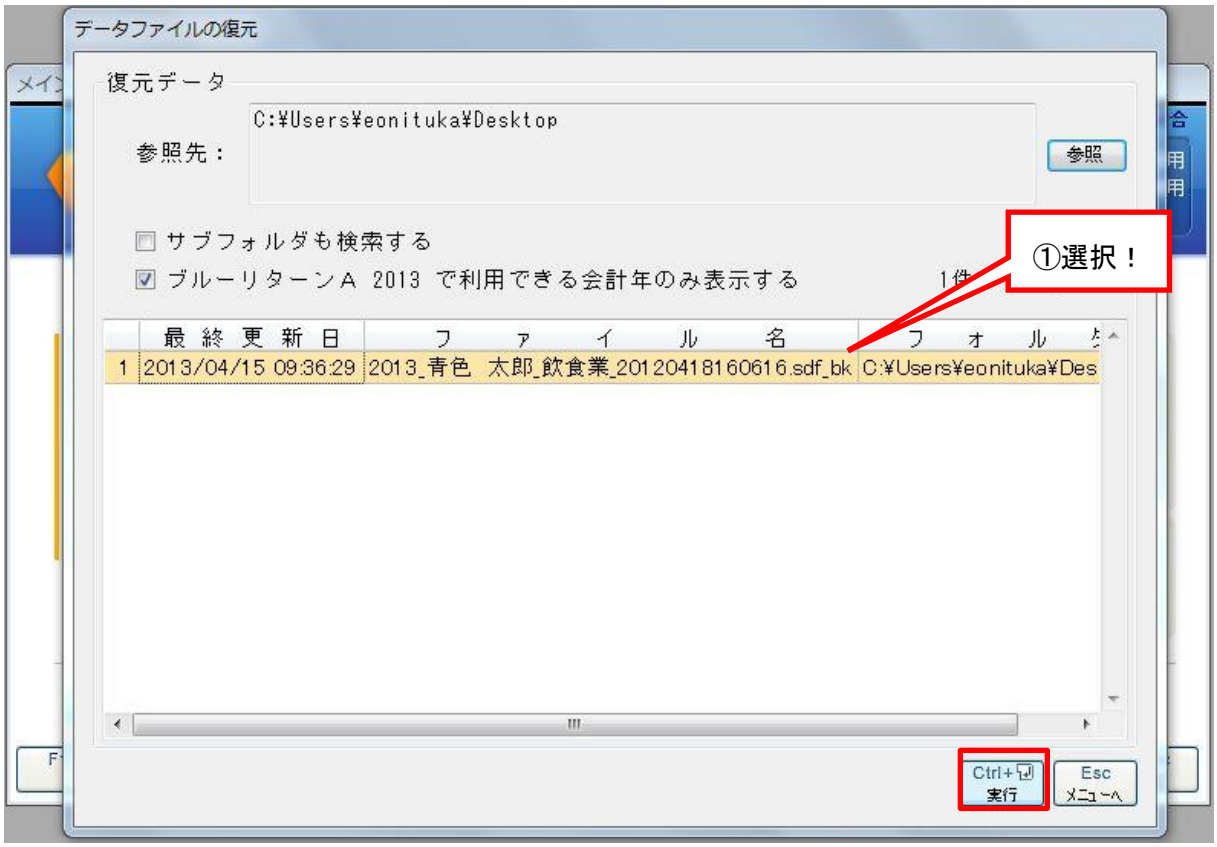
※「sdf_bk」以下の数字を削除する



（７）ブルーリターン A2014 を起動し、「データの復元」をクリックします。参照から「デスクトップ」を指定して「OK」をクリックします。



（８）表示されたデータのうち、該当データを選択し、実行します。
復元が完了したらデータの内容が正しいことをご確認いただき、ブルーリターンA2014を終了します。



※（５）において、デスクトップに貼り付けたデータは削除してください。
※復元時に「システムエラー」が発生した場合は、デスクトップに貼り付けたデータを削除し、手順（４）の部分で更新日時が次に新しいもの選択し、（４）以下の手順をお試しください。

Q29. インストールを開始したところ、途中で「トロイの木馬を検知しました」というメッセージが出て、インストールができない。対処方法は？

A29. この現象が発生する原因は、「AVG」もしくは「Avast!」というウィルス対策ソフトがブルーリターンAを「トロイの木馬」として誤検知してしまうからです。
対処方法は、以下の手順で操作を行って、誤検知しないような設定を行うことです。
①. AVG、Avast!の検査対象からCDドライブを外す設定を行う。もしくは了解いただけるのであれば、「Microsoft Security Essentials」に入れ替えてもらう。
②. ①が終了したら、改めてインストールを試す。
※ 詳細は、「参考資料５ Avast!一時停止手順」（45ページ）または「参考資料６ AVG一時停止手順」（46ページ）をご参照ください。

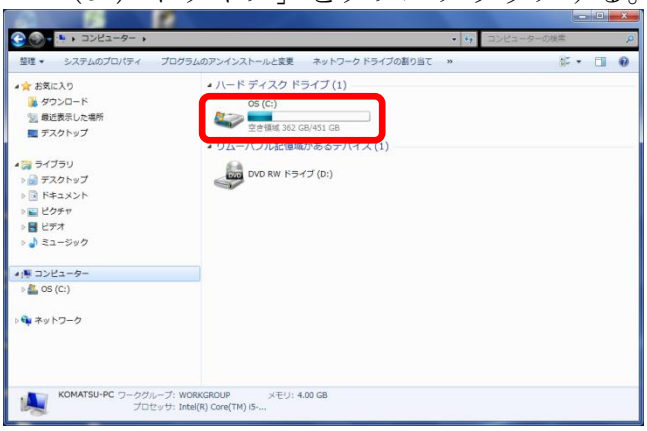
Q30 アイコンをダブルクリックすると、「パラメータが間違っています」というメッセージが表示される。対処方法は？

A30 この現象が発生する原因は、ショートカットアイコンのリンク先に、実行ファイルがみつからないことです。特に Vista で起こることが多い事象です。
この事象は、Program Files の BRMain アイコンを直接ダブルクリックして起動するか、ショートカットを再作成することで、解消できます。

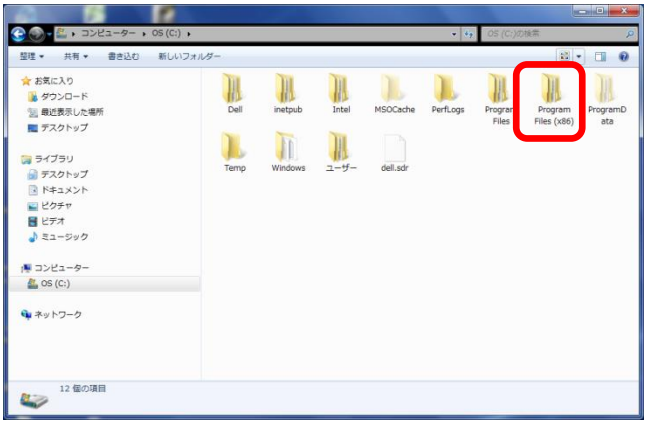
［ショートカットアイコンの再作成の手順］

（1）コンピュータ画面を開く。

（2）「（C:）ドライブ」をダブルクリックする。

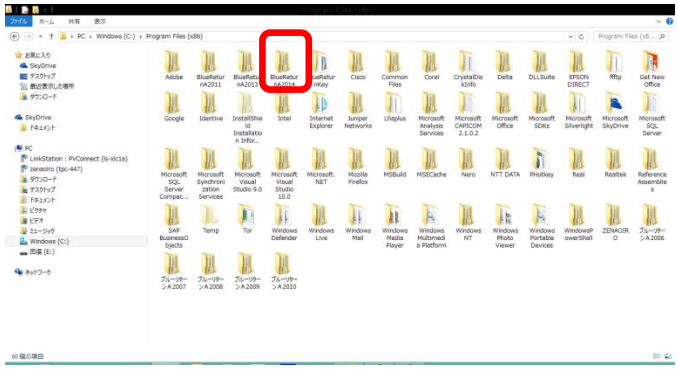


（3）「Program Files または Program Files(x86)」をダブルクリックする。

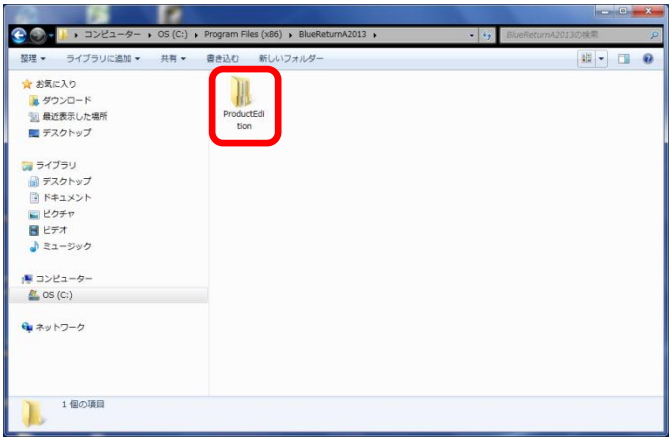


64 ビットパソコンの場合は、左のように「Program Files(x86)」を、32 ビットパソコンの場合は「Program Files」を、それぞれダブルクリックしてください。

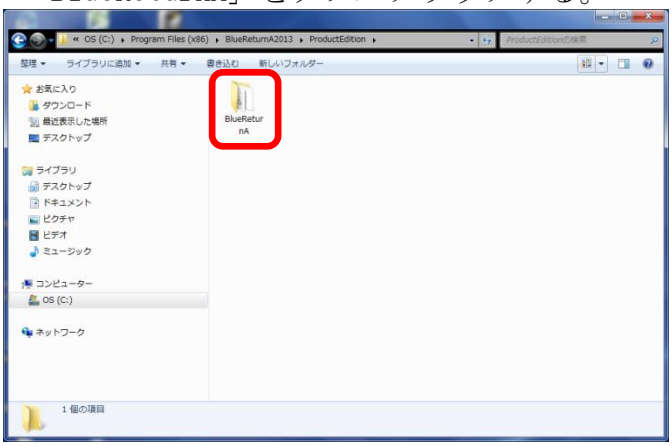
（4）「BlueReturnA2014」をダブルクリックする。



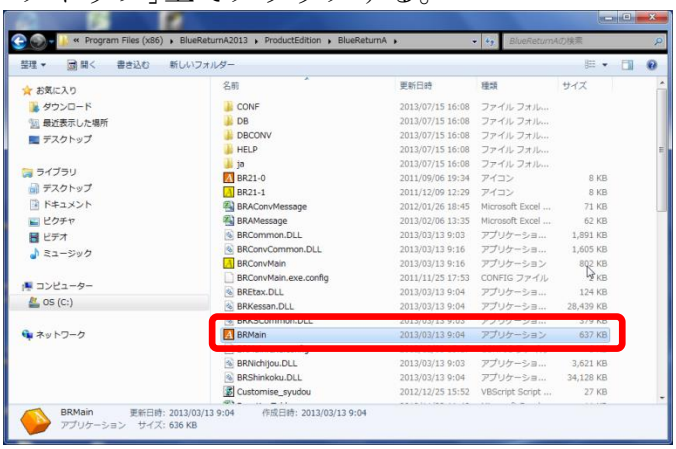
（５）「Product Edition」をダブルクリックする。



（６）「BlueReturnA」をダブルクリックする。

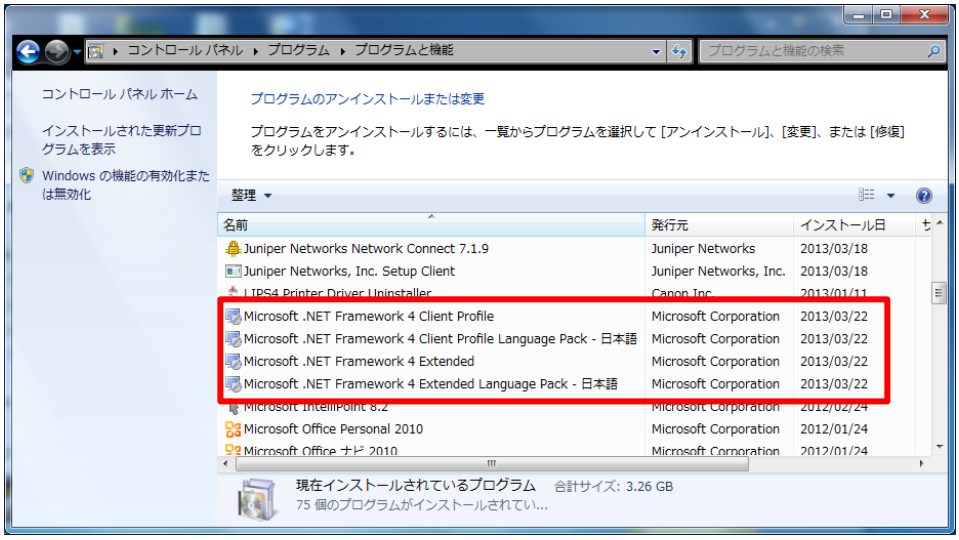


（７）「BRMain（.exe)」のアイコン上で右クリックをし、[送る]を選択した後、[デスクトップ]上でクリックする。

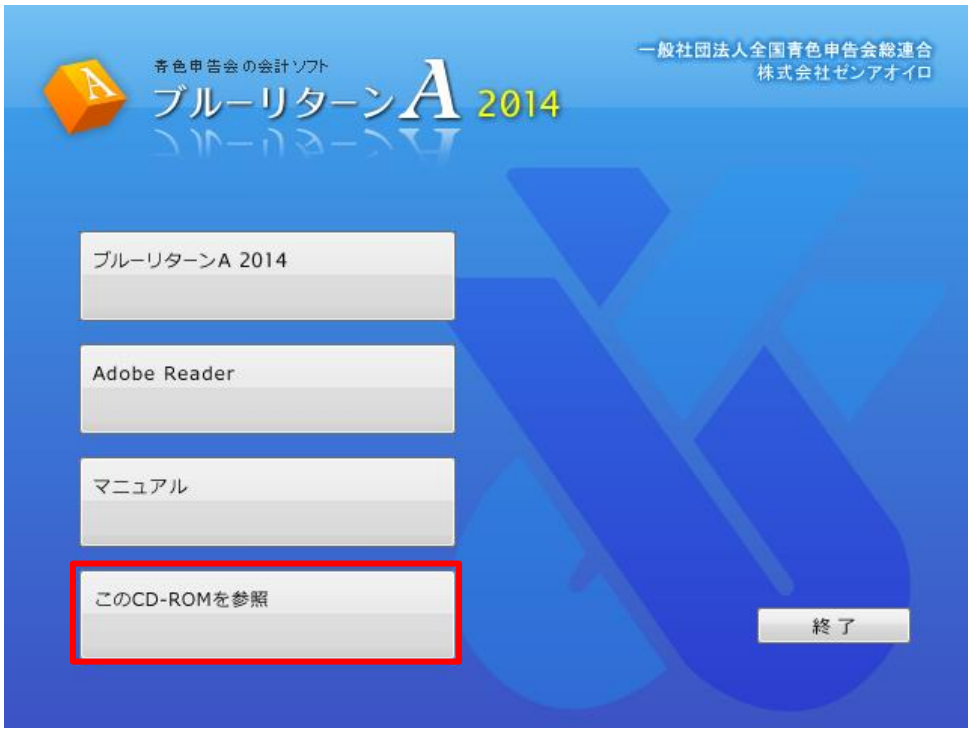


参考資料１　Microsoft .NET Framework 4　のインストール方法

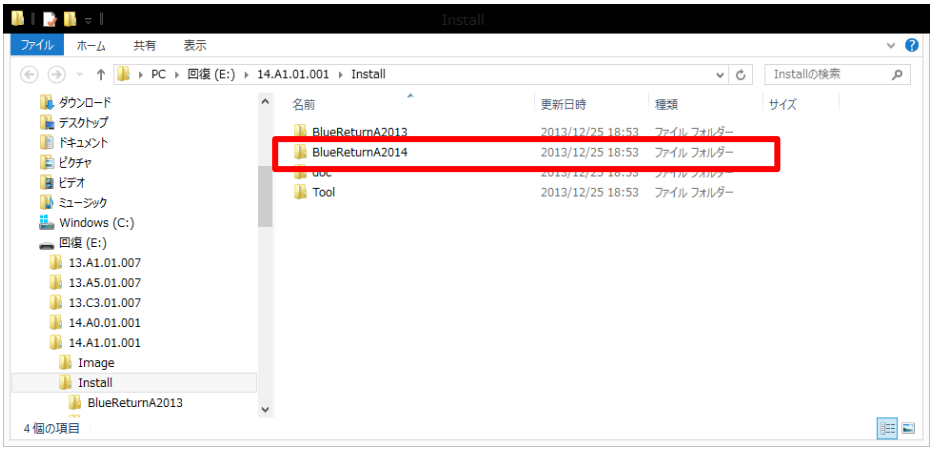
１．「コントロールパネル」から「プログラムの追加と削除」（ＸＰ）「プログラムと機能（アンインストール）」（Ｖｉｓｔａ、７、８、８．１）を開き、Microsoft.NET Framework4 のインストール状況を確認します。
枠内の内容を確認します。
枠内の内容が全て存在すれば、「CrystalReports のインストール方法」の内容に進み、Crystal Reports のインストールを実施します。存在しなければ、２に進んでください。
なお、８および８．１では、すでに Microsoft.NET Framework4.5 がＯＳに組み込まれておりますので、ここには表示されませんし、この作業も必要ありません。



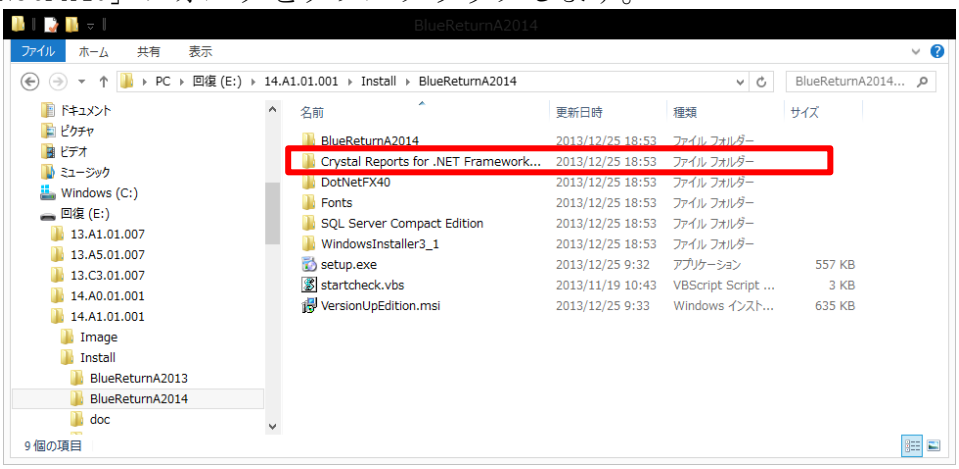
２．「このＣＤ－ＲＯＭを参照」をクリックします。



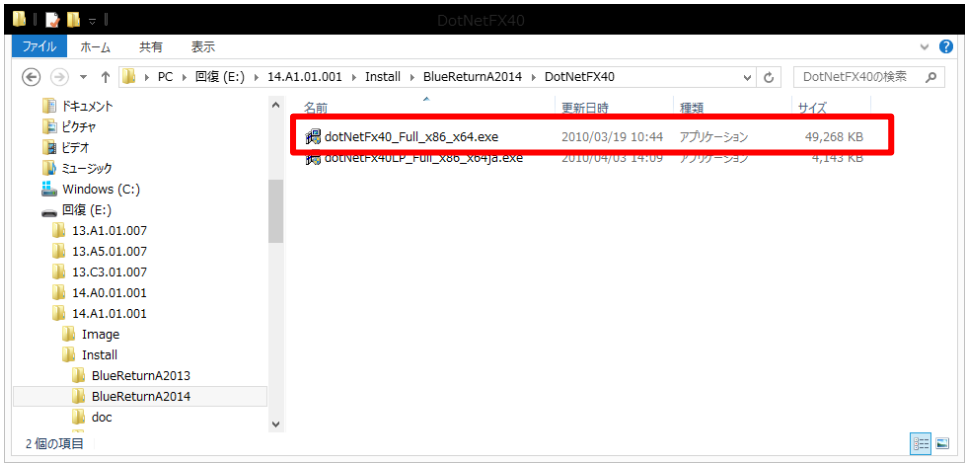
３．「BlueReturnA2014」フォルダをダブルクリックします。



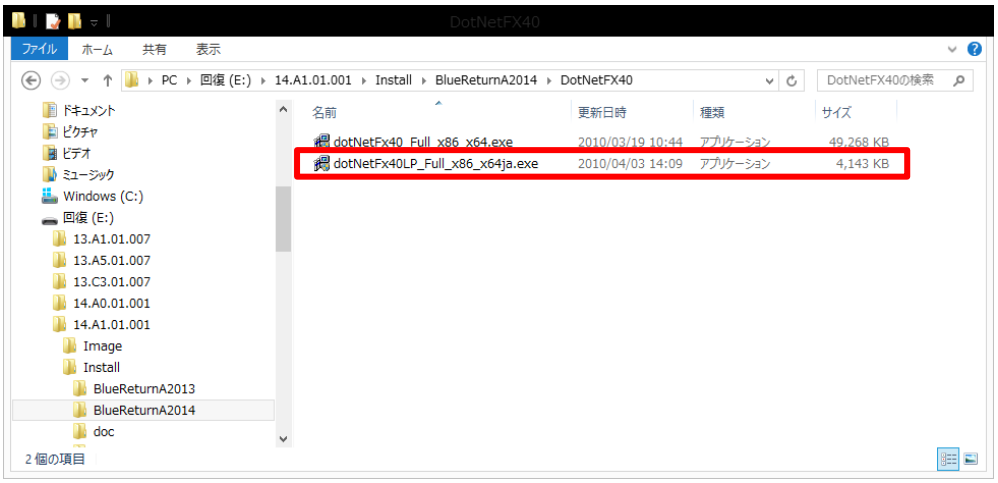
４．「DotNetFX40」フォルダをダブルクリックします。



５．「dotNetFx40_Full_x86_x64.exe」をダブルクリックして、インストールします。

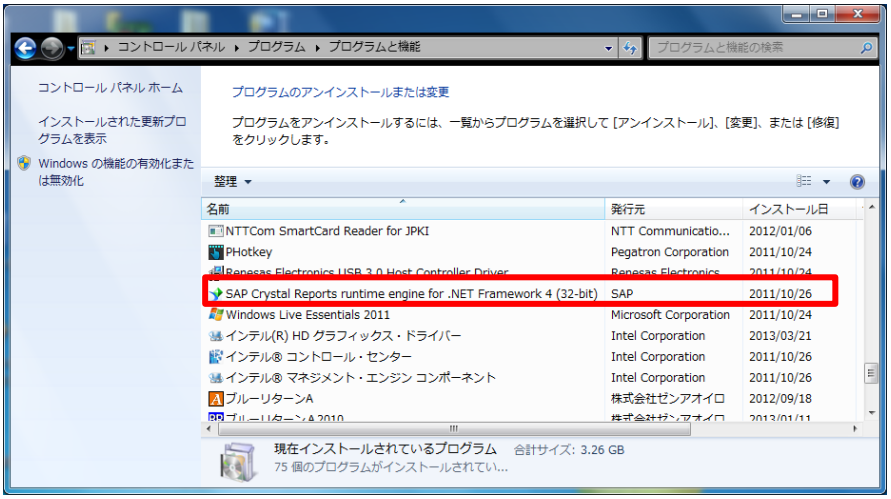


６．５が終了したら、「dotNetFx40_Full_x86_x64ja.exe」をダブルクリックして、インストールします。

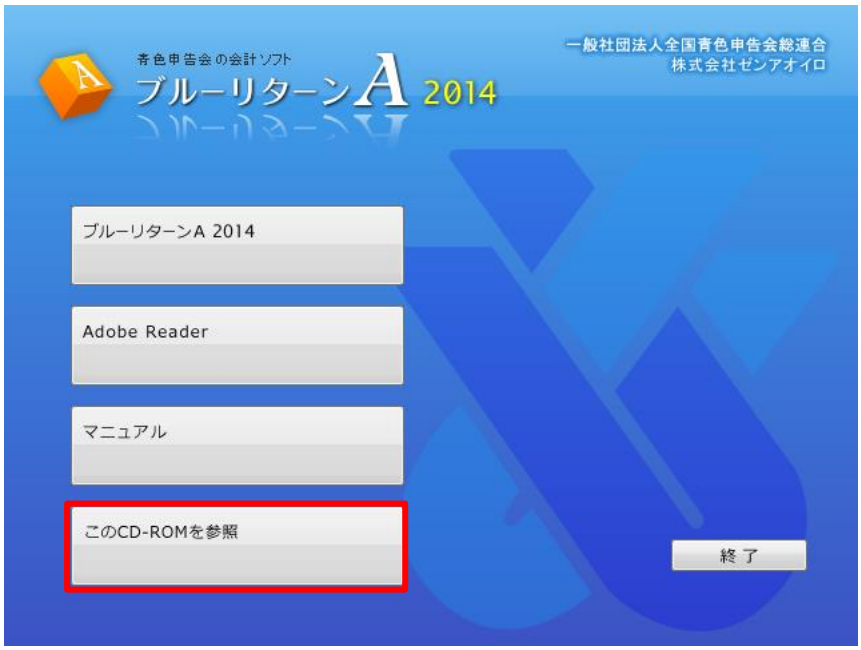


参考資料２　SAP Crystal Reports のインストール方法

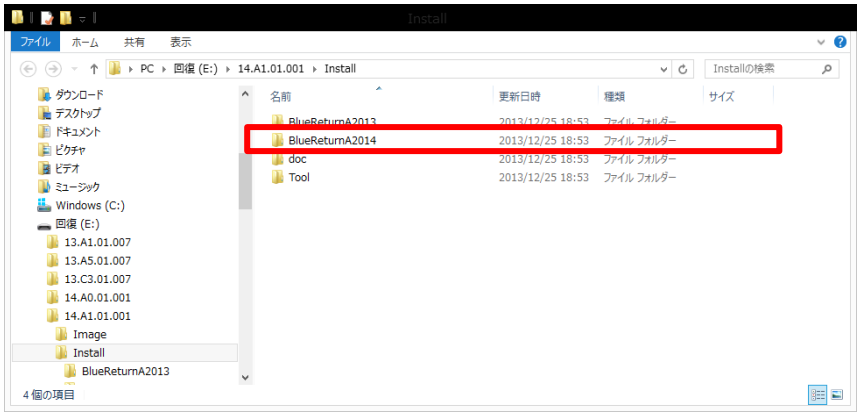
１．「コントロールパネル」から「プログラムの追加と削除」（ＸＰ）「プログラムと機能（アンインストール）」（Ｖｉｓｔａ、７、８、８．１）を開き、Crystal Reports のインストール状況を確認します。
枠内の内容を確認します。
枠内の内容が存在すれば、「SQL Server Compact のインストール方法」の内容に進み、SQL Server Compact のインストールを実施します。存在しなければ、２に進んでください。



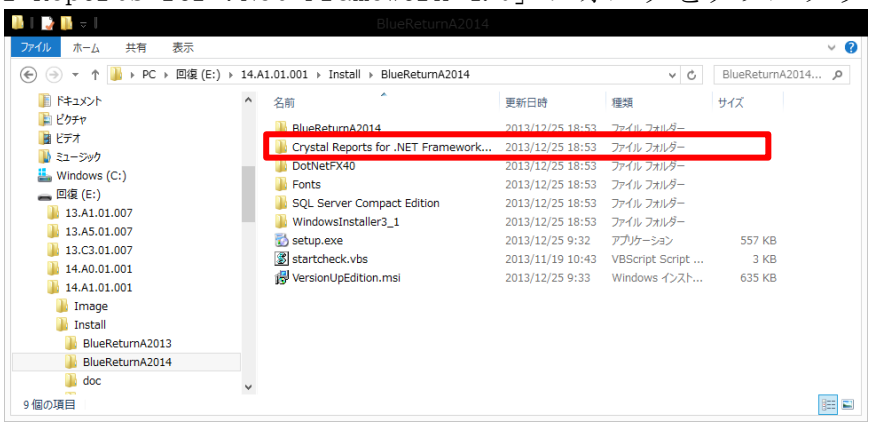
２．「このＣＤ－ＲＯＭを参照」をクリックします。



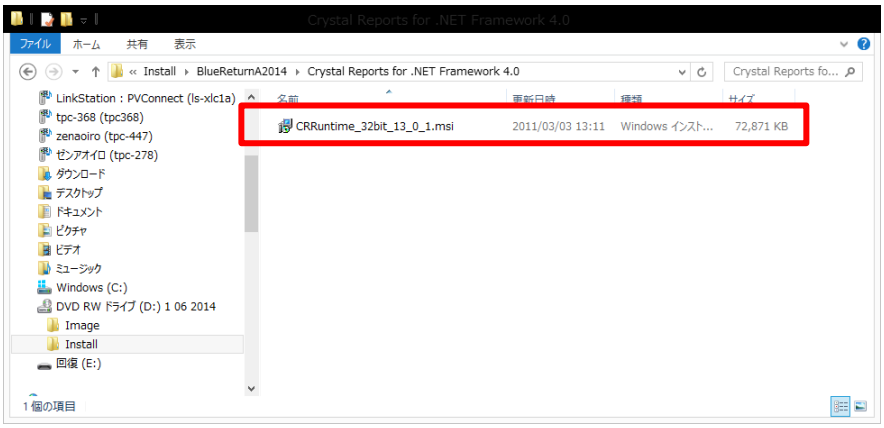
3．「BlueReturnA2014」フォルダをダブルクリックします。



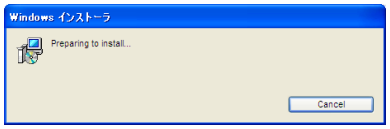
4．「Crystal Reports for .Net Framework 4.0」フォルダをダブルクリックします。



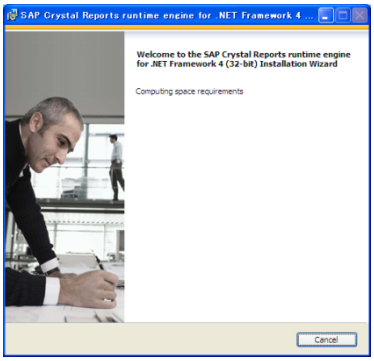
5．「CRRuntime_32bit_13_0_1.msi」をダブルクリックして、インストールします。



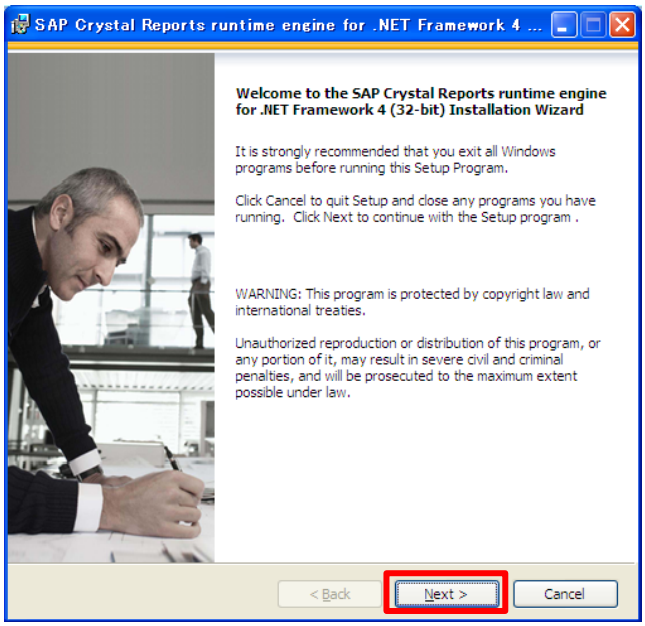
6．インストーラが処理を行っていますので、そのまましばらく待ちます。



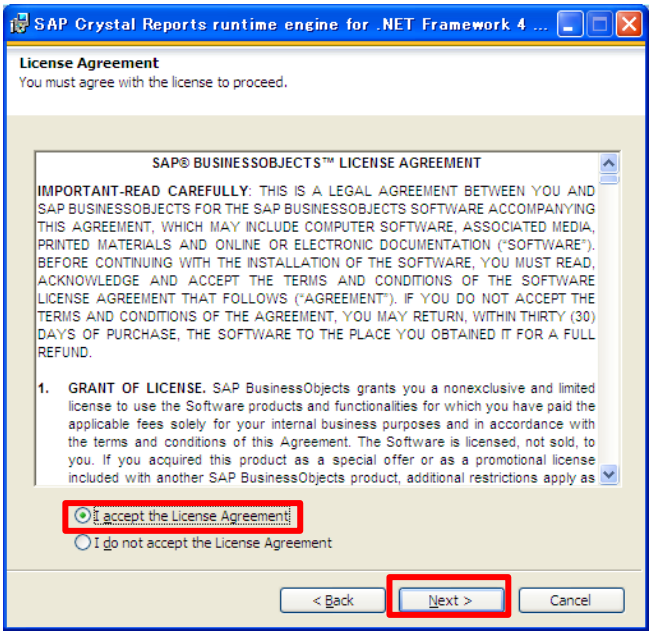
↓



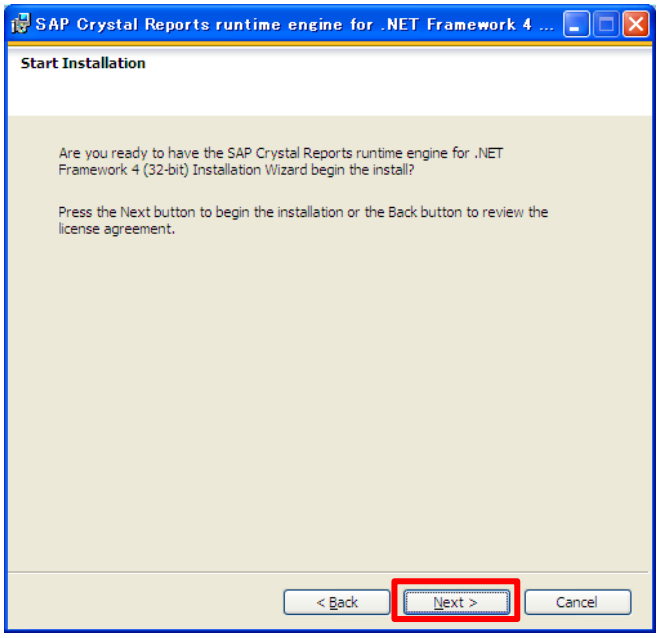
7．下記画面が表示されたら「Next」ボタンを選択します。



8．下記画面が表示されたら、「I accept the License Agreement」を選択して、「Next」ボタンを選択します。

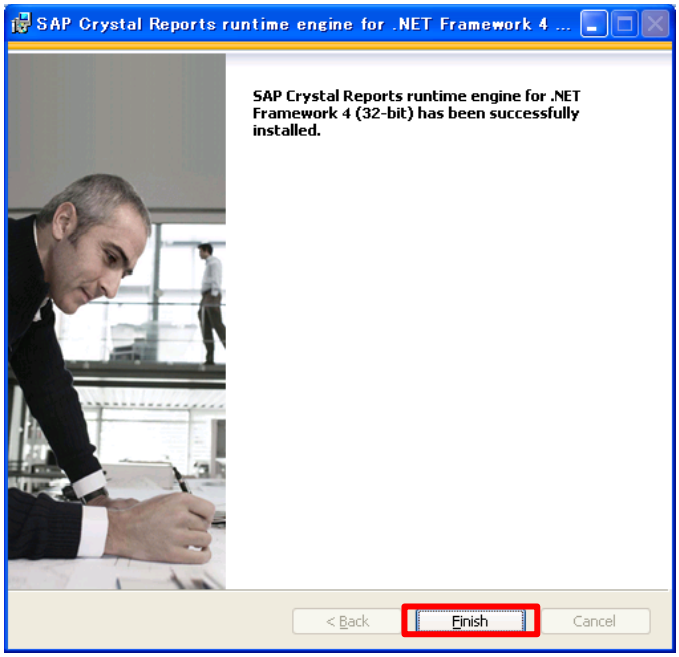


９．下記画面が表示されたら「Next」ボタンを選択します。



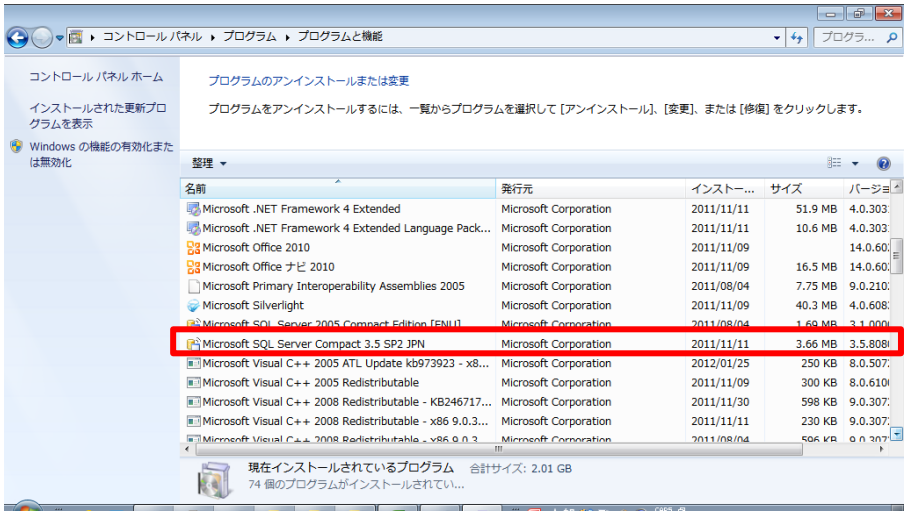
１０．インストールが実行されます。そのままお待ちください。

１１．下記画面が表示されたら、インストール完了です。「Finish」ボタンを選択してください。

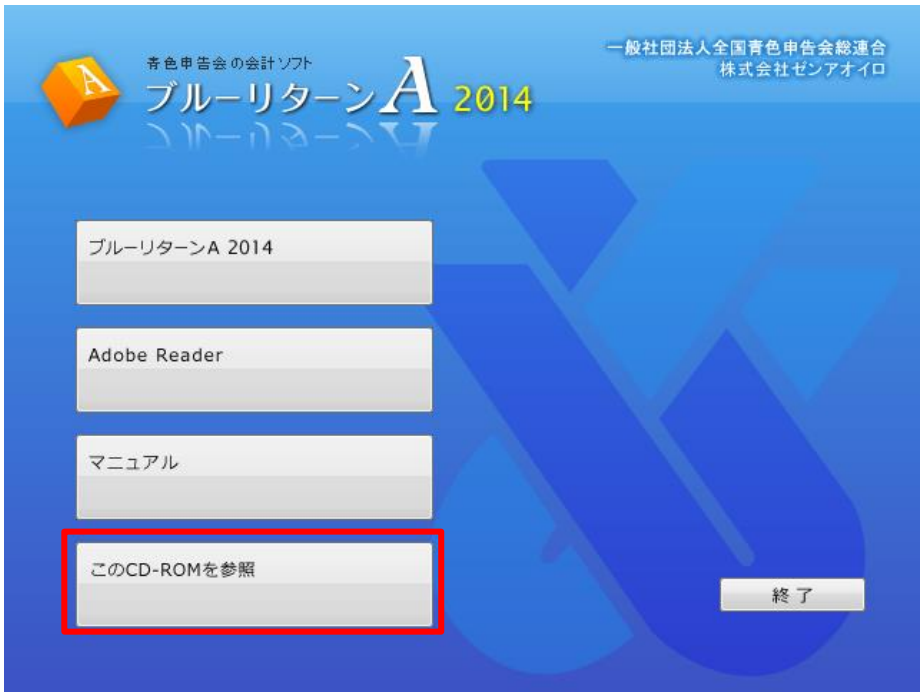


参考資料３　Microsoft SQL Server Compact のインストール方法

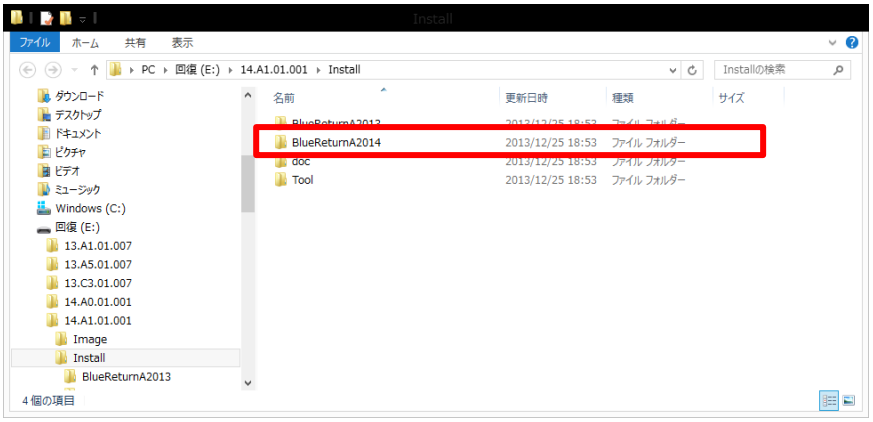
１．「コントロールパネル」から「プログラムの追加と削除」（ＸＰ）「プログラムと機能（アンインストール）」（Ｖｉｓｔａ、７、８、８．１）を開き、SQL Server Compact 3.5 SP2 のインストール状況を確認します。
枠内の内容を確認します。
枠内の内容が存在すれば、インストールの必要はありません。存在しなければ、２に進んでください。



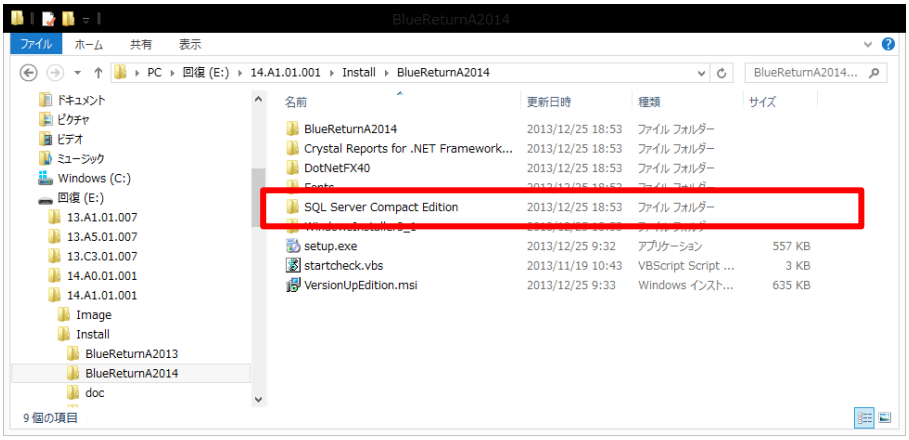
２．「このＣＤ－ＲＯＭを参照」をクリックします。



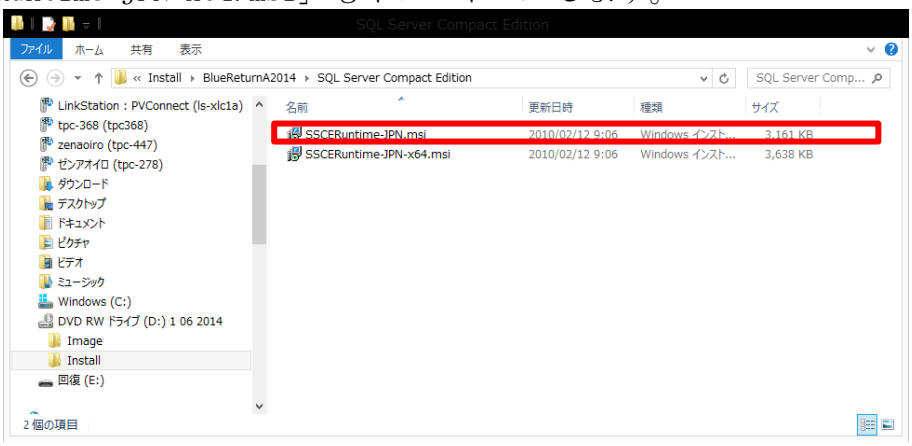
3．「BlueReturnA2014」フォルダをダブルクリックします。



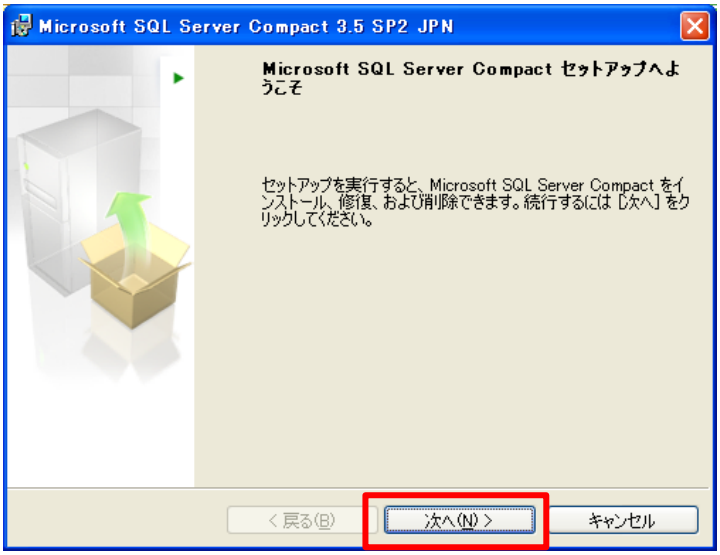
4．「SQL Server Compact Edition」フォルダをダブルクリックします。



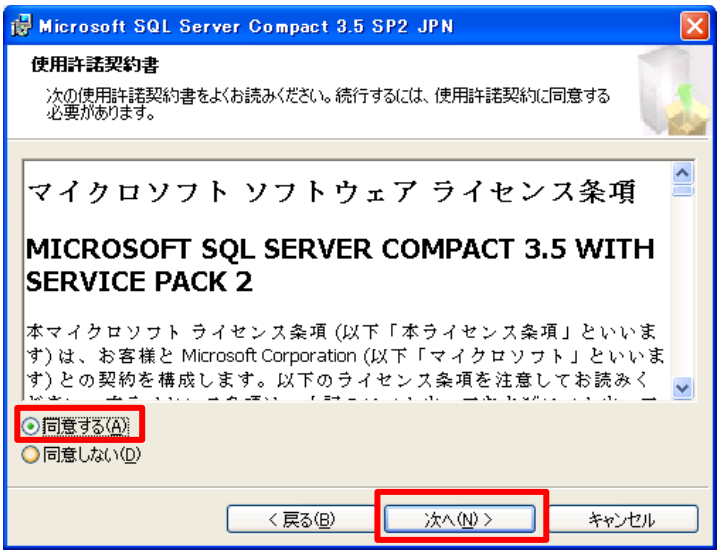
5．「SSCERuntime-JPN.msi」をダブルクリックして、インストールします。
なお、インストールするパソコンが 64 ビットの場合は、このインストール終了後、「SSCERuntime-JPN-x64.msi」もインストールします。



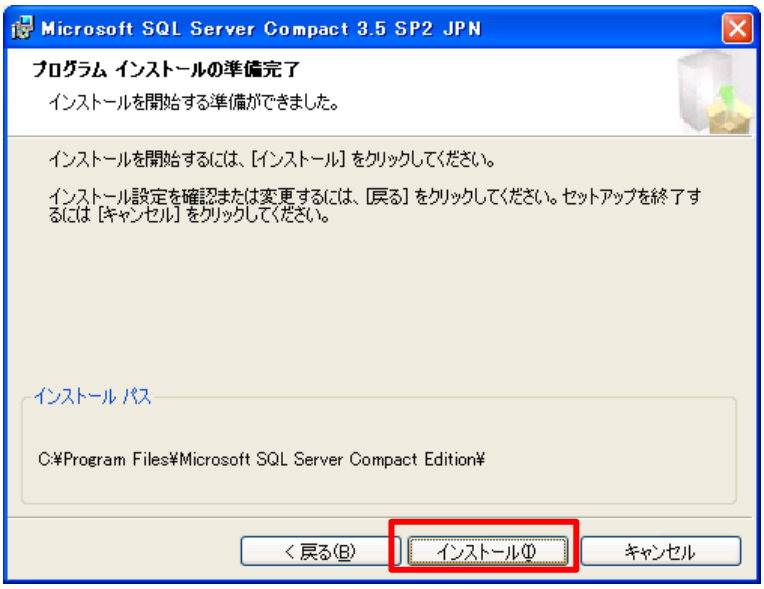
6．下記画面が表示されたら「次へ」ボタンを選択します。



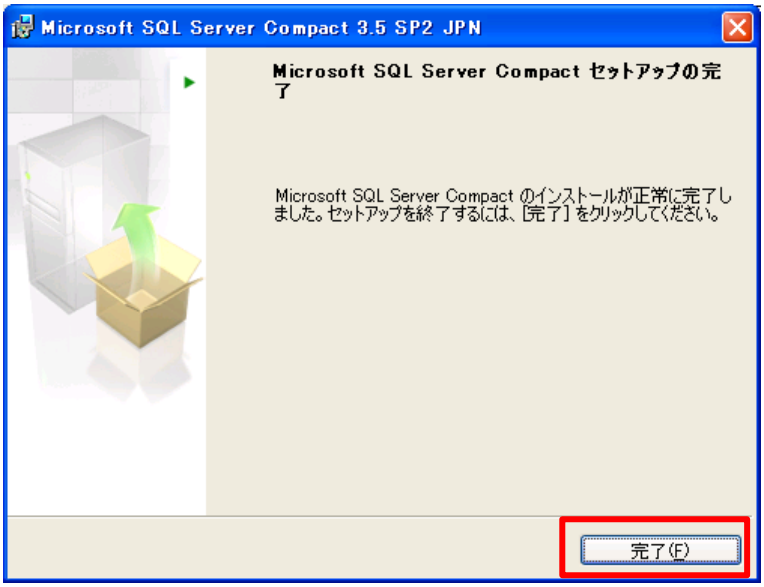
7．下記画面が表示されたら「同意する」をクリックし、「次へ」をクリックします。



8．下記画面が表示されたら「インストール」をクリックします。



９．下記画面が表示されたら「完了」をクリックして、終了します。



参考資料４　　ウィルス対策ソフトの例外設定について

・インターネットセキュリティ製品上で、インターネットアクセスを許可するように変更します。ここでは、「Kaspersky Internet Security 2012」「ウイルスバスター2012 クラウド」「シマンテック ノートン インターネット セキュリティ 2012」「McAfee」での 設定を紹介します。

他のバージョンおよび他のセキュリティソフトでの具体的な操作手順については、各ソフトのヘルプやマニュアルを参照してください。

また、参考になるインターネットのサイトは、ジャストシステムの次のページです。

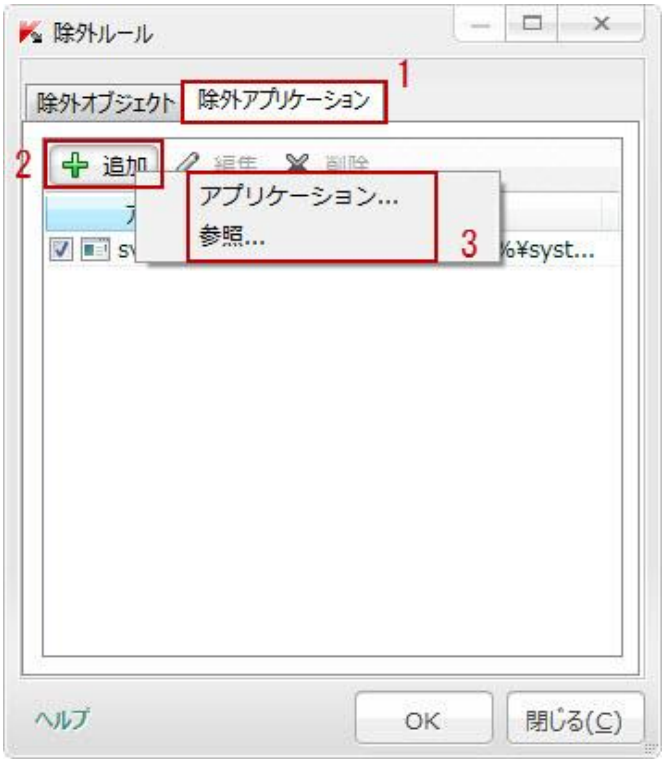
「http://support.justsystems.com/faq/1032/app/servlet/qadoc?QID=020723#a04」

１．Kaspersky Internet Security 2012 の場合

次の手順で、例外設定を行います。

1.メインウィンドウを開きます。
2.［設定］ウィンドウの右側の［設定］ボタンをクリックします。
3.［設定］ウィンドウの左上部にある［詳細］に移動します。
4.［設定］ウィンドウ左側で、［脅威と除外］を選択します。
5.［設定］ウィンドウ右側の［除外］セクションで、［設定］ボタンをクリックします。

6.［除外ルール］ウィンドウで、［除外アプリケーション］タブに移動します。
7.［除外ルール］ウィンドウで、［追加］ボタンをクリックします。
8.［参照］または［アプリケーション］（実行中のアプリケーションが表示されます）を使用して、除外アプリケーションの実行ファイルを選択します。



9.表示される［除外アプリケーション］ウィンドウで、除外アプリケーション用の設定を選択します：
･開いたファイルをスキャンしない - すべてのファイルスキャン対象から除外アプリケーションプロセスを除外します。
･アプリケーションの動作を監視しない - 疑わしい動作などを含む、除外アプリケーションが実行するすべての動作をプロアクティブディフェンスの監視から除外します。
･子アプリケーションの動作を監視しない - 疑わしい動作などを含む、除外アプリケーションの子アプリケーションが実行するすべての動作をプロアクティブディフェンスの監視から除外します。

以下の順で選択し、一覧に「BRMain」を追加して下さい。

①「マイ コンピュータ」 を選択する。（※Windows 8.1、Windows 8、Windows 7 および Windows Vista の場合は「コンピュータ」）

②『ローカルディスク (C:)』を選択する。

③「Program Files」（64-bit の場合は後ろに「x86」があるもの） を選択する。

④「BlueReturnA2014」 を選択する。

⑤「ProductEdition」 を選択する。

⑥「BlueReturnA」を選択する。

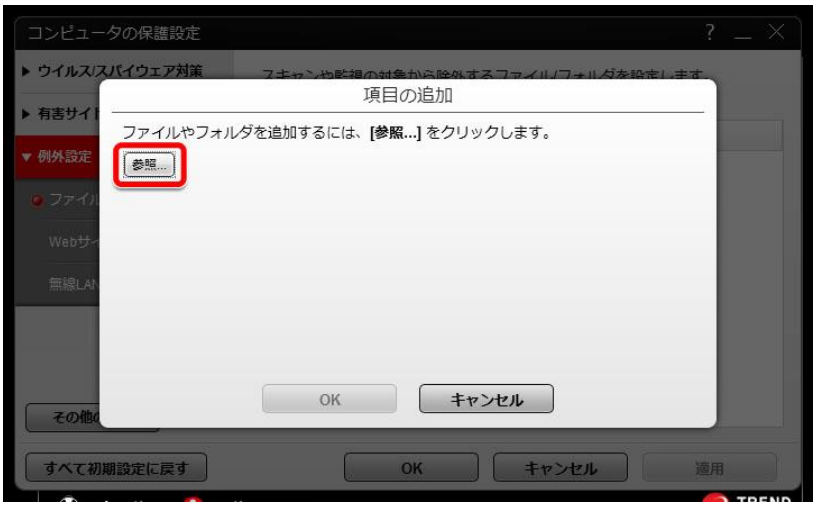
⑥「BRMain.exe」を選択する。

２．ウィルスバスター2012 クラウドの場合

（1）画面右下からアイコン を選択し、設定画面を開きます。下部のメニューから「設定」ボタンを押下して下さい。

（2）「例外設定」を選択して下さい。「追加」ボタンを押下して下さい。

(3)ブルーリターンＡを例外リストに追加します。



「参照」ボタンから BRMain.exe プログラムを選択して下さい。

以下の順で選択し、一覧に「BRMain」を追加して下さい。

①「マイ コンピュータ」 を選択する。（※Windows 8.1、Windows 8、Windows 7 および Windows Vista の場合は「コンピュータ」）

②『ローカルディスク（C:)』を選択する。

③「Program Files」（64-bit の場合は後ろに「x86」があるもの） を選択する。

④「BlueReturnA2014」 を選択する。

⑤「ProductEdition」 を選択する。

⑥「BlueReturnA」を選択する。

⑥「BRMain.exe」を選択する。

※「保護者機能」を「有効」に設定の場合は、一覧から「未分類」を許可して下さい。
初期設定では「無効」です。

3．シマンテック ノートン インターネット セキュリティ 2013 の場合

(1) 画面右下からアイコン を選択し、設定画面を開きます。右上のメニューの「設定」を選択して下さい。

(2)　「ネットワーク」の覧の「スマートファイアウォール」内、
「プログラム制御」右部の「設定[+]」を選択 して下さい。

一覧の中から「BRMain」を選択し、右側の四角の中を「許可する」にして下さい。
●一覧に「BRMain」が無い場合、「追加」ボタンを押下して下さい。

①「マイ コンピュータ」 を選択する。（※Windows 8.1、Windows 8、Windows 7 および Windows Vista の場合は「コンピュータ」）

②『ローカルディスク (C:)』を選択する。

③「Program Files」（64-bit の場合は後ろに「x86」があるもの） を選択する。

④「BlueReturnA2014」 を選択する。

⑤「ProductEdition」 を選択する。

⑥「BlueReturnA」を選択する。

⑥「BRMain.exe」を選択する。

※「保護者機能」を「有効」に設定の場合は、一覧から「未分類」を許可して下さい。
初期設定では「無効」です。

４．McAfee の場合

①起動しているアプリケーションはすべて終了します。

②画面右下に表示されている McAfee の常駐アイコンを右クリックし、
［Security Center を開く］を選択します。

③画面右に表示される［設定］をクリックします。

④［ファイアウォールによる保護は有効です］の［詳細設定］をクリックします。

⑤画面左に表示される［プログラム許可機能］をクリックします。

⑥画面中央に表示される［プログラム名］で、「BRMain.exe」が表示されているか確認します。

表示されている場合

・ブルーリターンＡ製品のプログラムファイル（BRMain.exe）が、［許可］欄で［ブロック］になっている場合、画面右下の［対応］から［アクセスを許可］をクリックします。

表示されていない場合

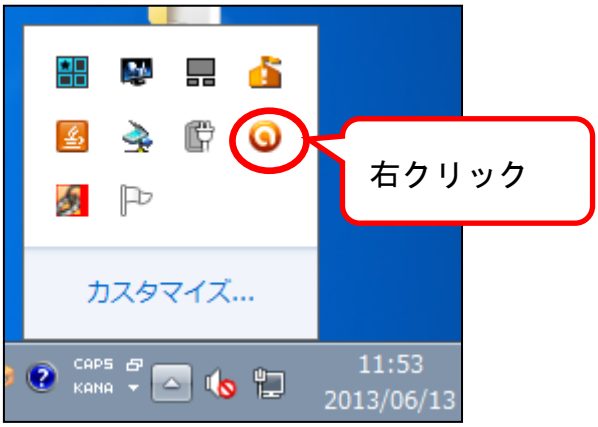
［許可されたプログラムを追加］を選択し、プログラムファイル（exe）を指定します。

⑦［OK］をクリックします。

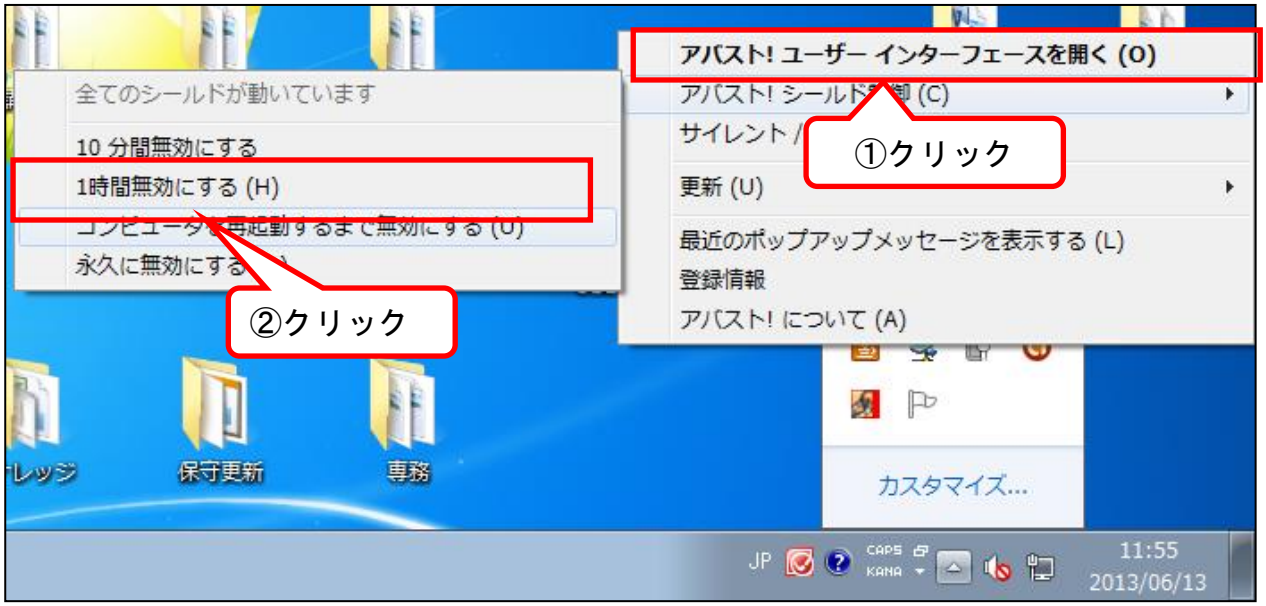
参考資料５　Avast!一時停止手順

■操作

①デスクトップ画面右下の「Avast!」のアイコンを右クリックする。



②「アバスト！シールド制御」　をクリックし、「コンピュータを再起動するまで無効にする」をクリックする。



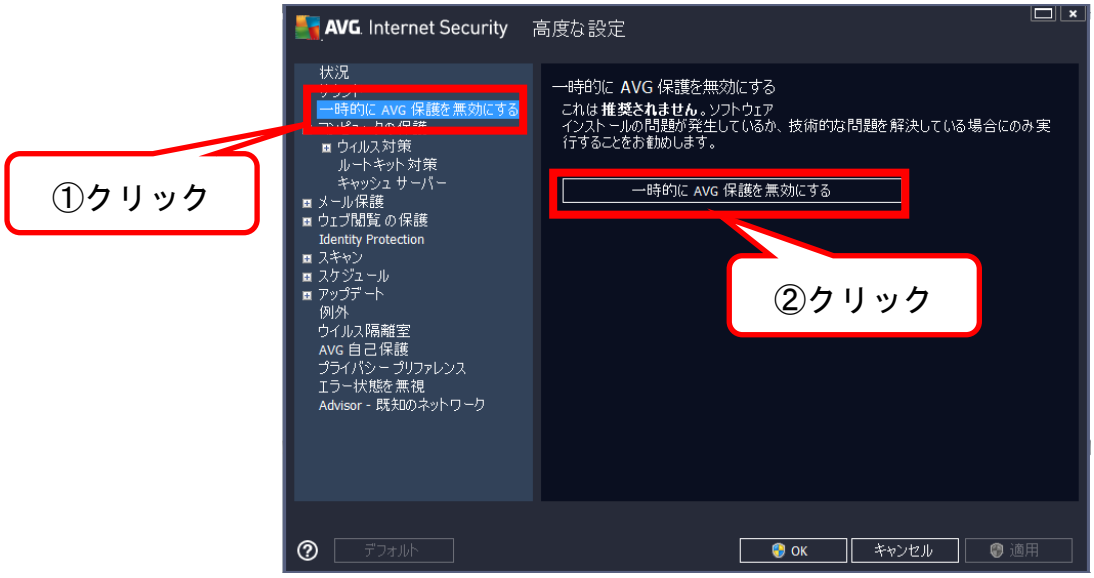
参考資料６　AVG 一時停止手順

■操作

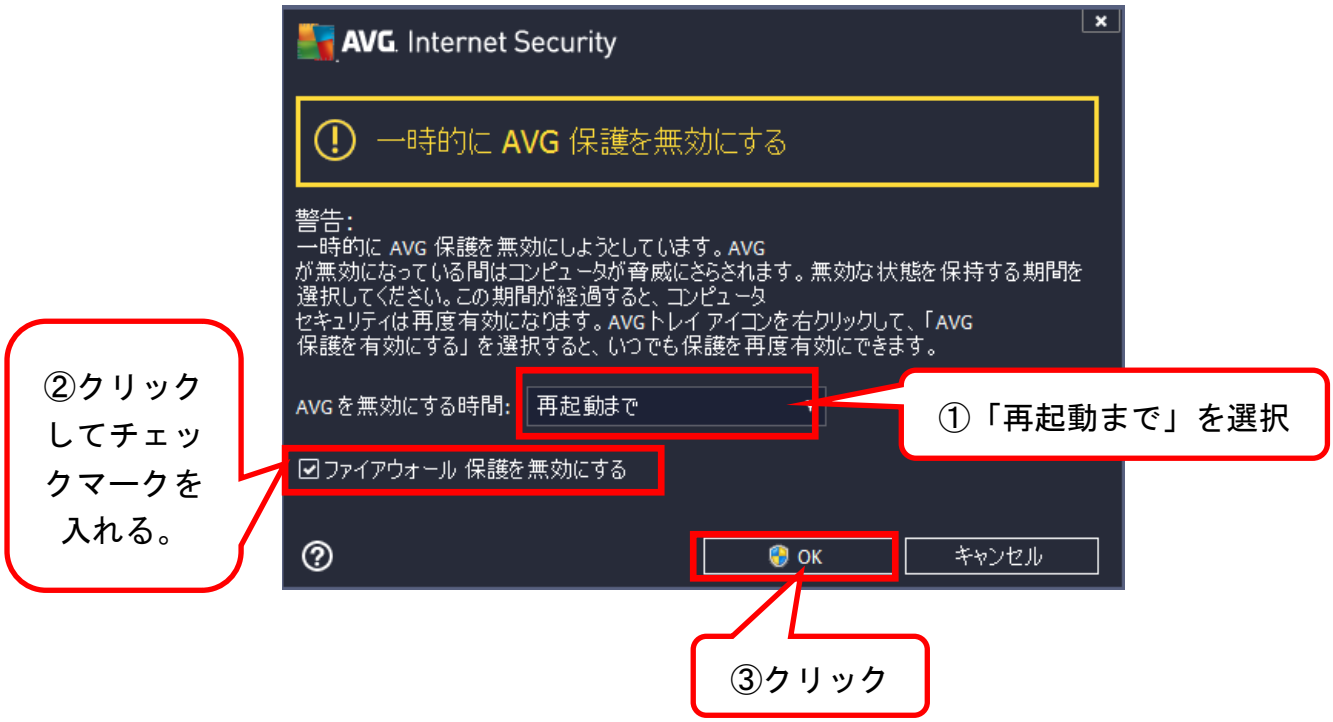
①Windows のスタートボタン、「すべてのプログラム（プログラム）」、「AVG20○○」を順にクリックし、メインメニューの画面を開き、「コンピュータ」をクリックする。

②「設定」をクリックする。

③「一時的に AVG 保護を無効にする」をクリックする。



④無効にする時間を「再起動まで」とし、「ファイアウォール保護を無効にする」の欄にチェックを入れ、「OK」をクリックする。



参考資料７　ATOK のプロパティ設定変更について

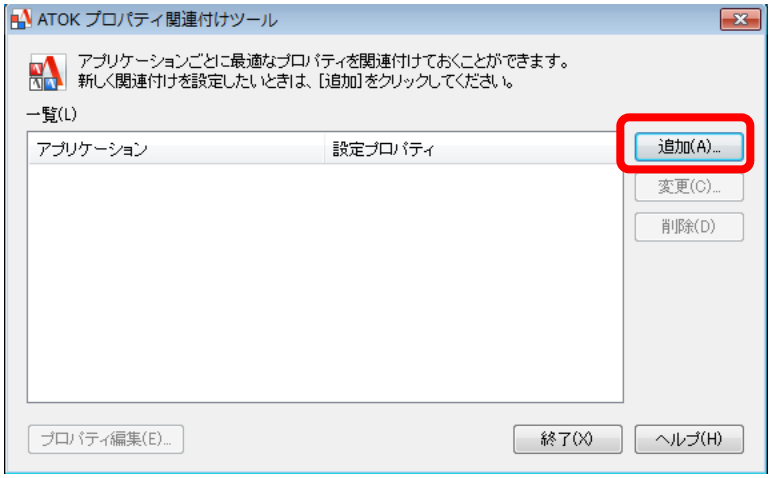
ATOK 開発元のジャストシステム社様が公開しております「プロパティ設定の変更」についてご案内いたします。
以下の設定をお試しください。

≪内容≫
プロパティを利用して、アプリケーションごとに入力・変換の設定が自動的に切り替わるようにすることができます。

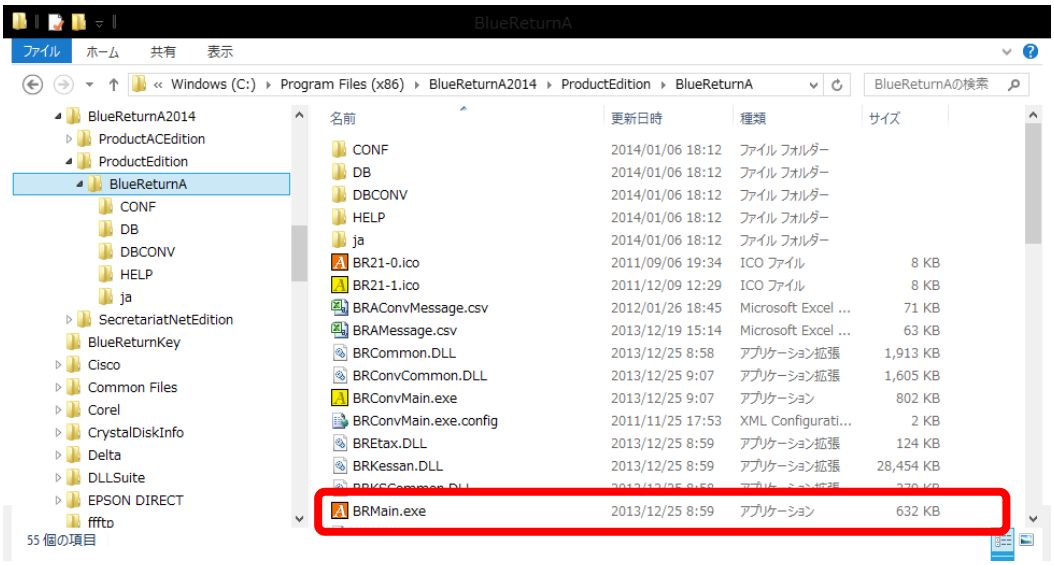
■操作

１．Windows の［スタート］ボタン→［すべてのプログラム］→[ATOK-ATOK ○○]→[プロパティ関連付けツール］を選択します。
※○○には、使用しているATOK のバージョンが入ります。

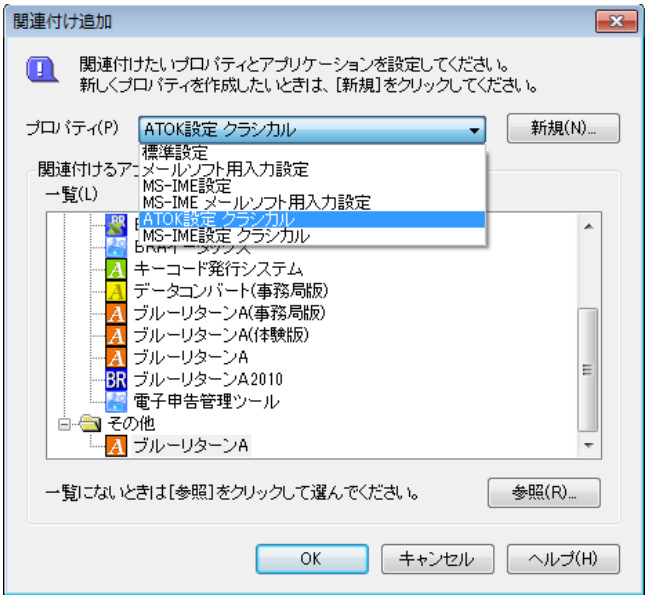
２．［追加］をクリックします。



３．［参照］をクリックし、[コンピュータ（またはマイコンピュータ）]→[C ドライブ]→［ProgramFiles］→［BlueReturnA2014］→［ProductEdition］→［BluerReturnA］を開き、[BRMain]を指定して「開く」を選択します。



４．［プロパティ］から、関連付けたいプロパティを（ＭＳ－ＩＭＥ）選択し、[OK]をクリックします。



５．［終了］をクリックします。

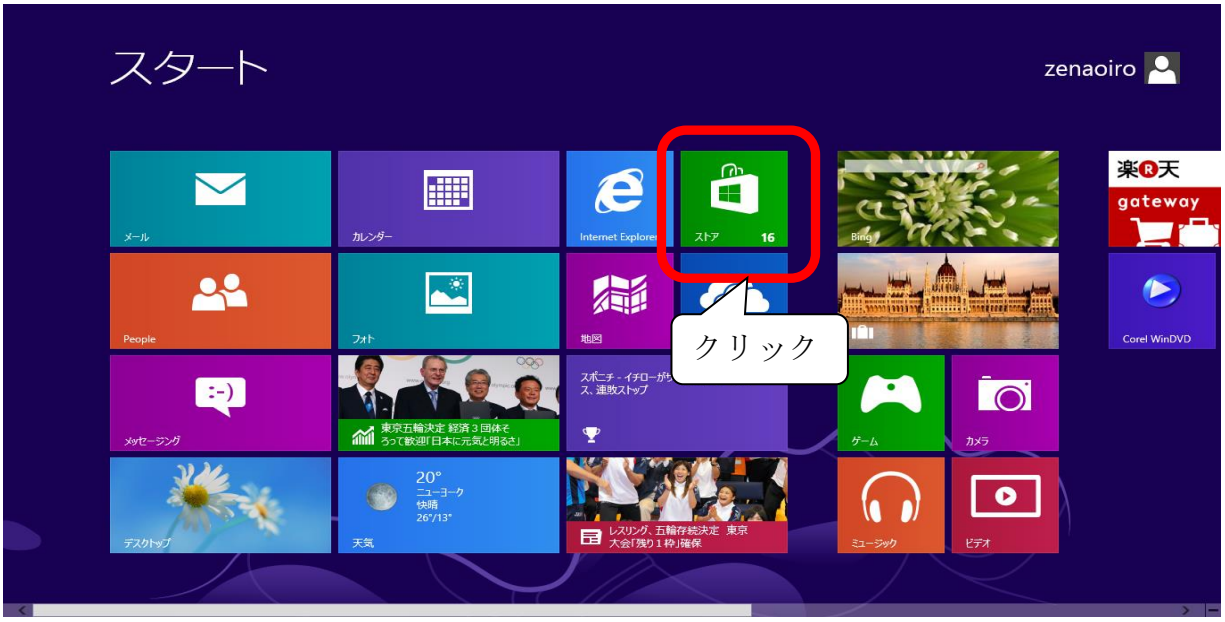
参考資料８　Windows8 ソフト終了時・データ復元時システムエラー

Windows　８／８．１がインストールされた一部のコンピュータで、ブルーリターンＡを終了させたり、データの復元等を行うと、「システムエラーが発生しました」というメッセージが表示されることがあります。
このエラーの原因と対処方法は、次の通りです。

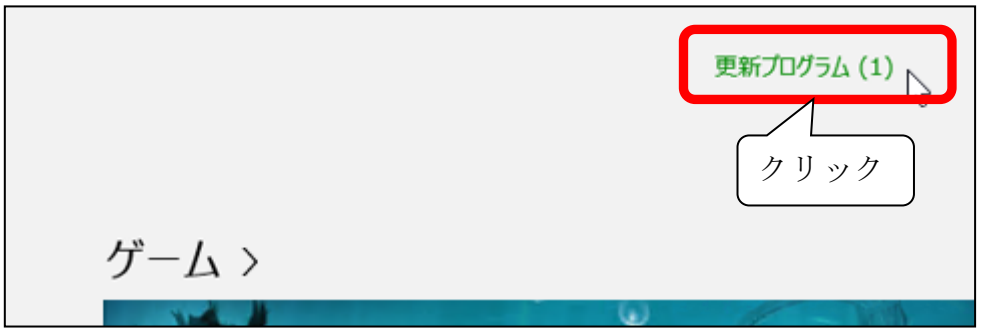
【その１　富士通製のパソコンの場合】

１．Ｗｉｎｄｏｗｓスタートメニューを表示させます。（デスクトップ画面が表示されている場合は、キーボード上の マークを押下します。）

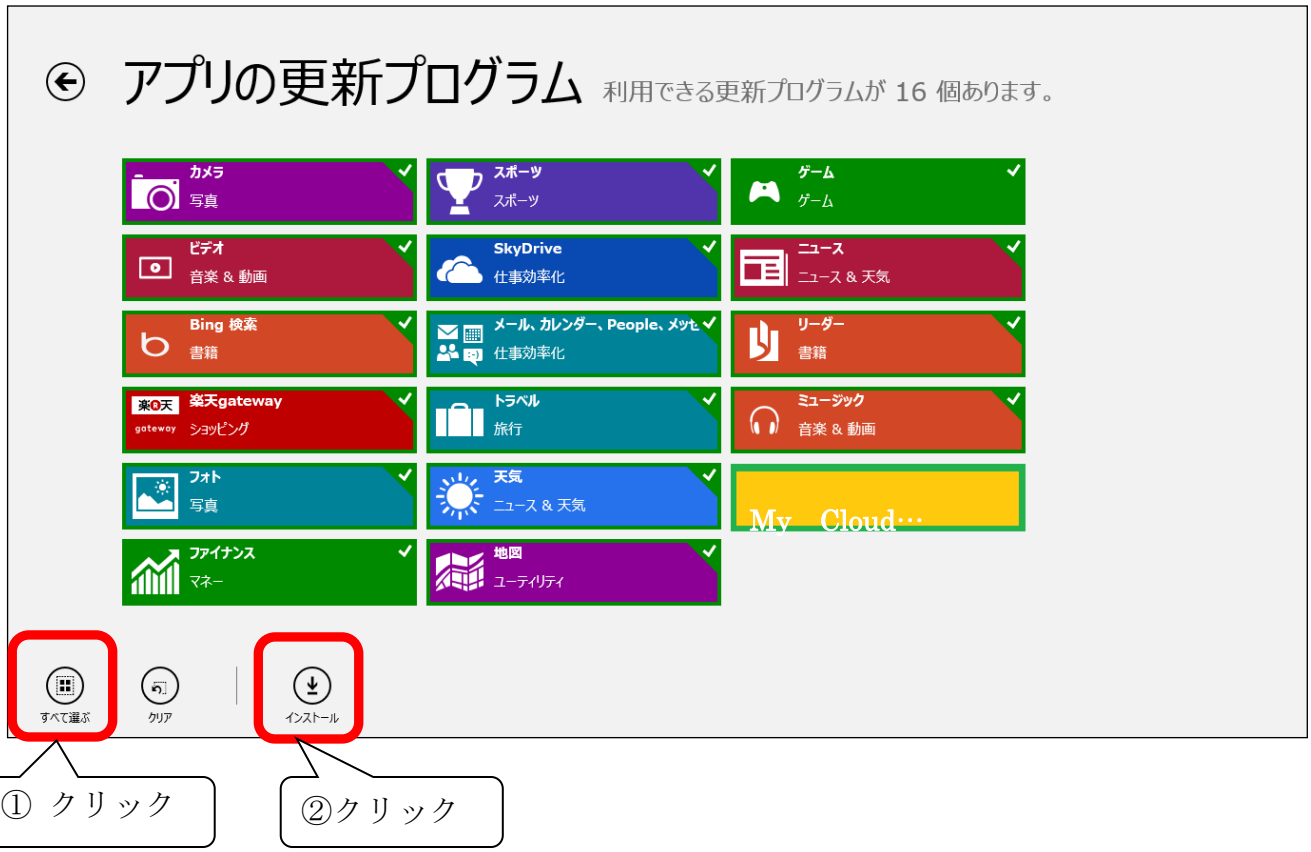
２．スタートメニューが表示されたら、「ストア」をクリックします。



３．ストアの右上隅で、更新プログラムに関する通知をタップまたはクリックします。

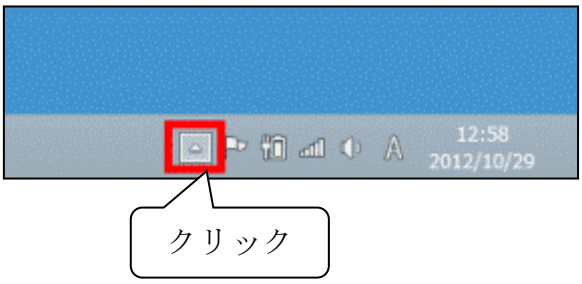


４．「アプリの更新プログラム」の画面が表示されたら、「すべて選ぶ」をクリックし、「インストール」をクリックします。（「ＭｙＣｌｏｕｄ…」から始まるプログラムは必ずインストールしてください）

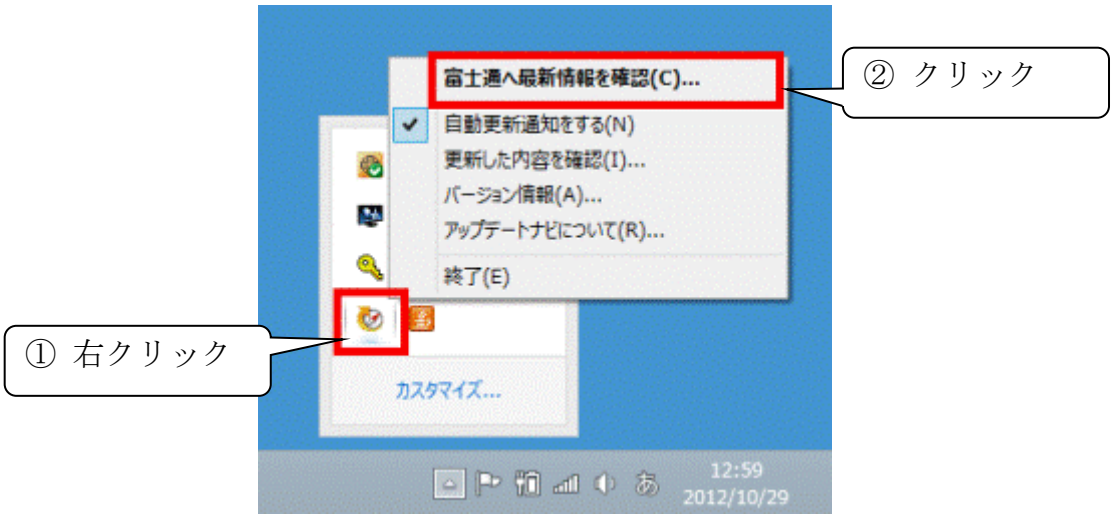


５．「アプリがインストールされました」の画面が表示されたら、デスクトップ画面に戻ります。（キーボード上の マークを押下します。）

６．画面右下に表示されている上向き三角形ボタンをクリックします。

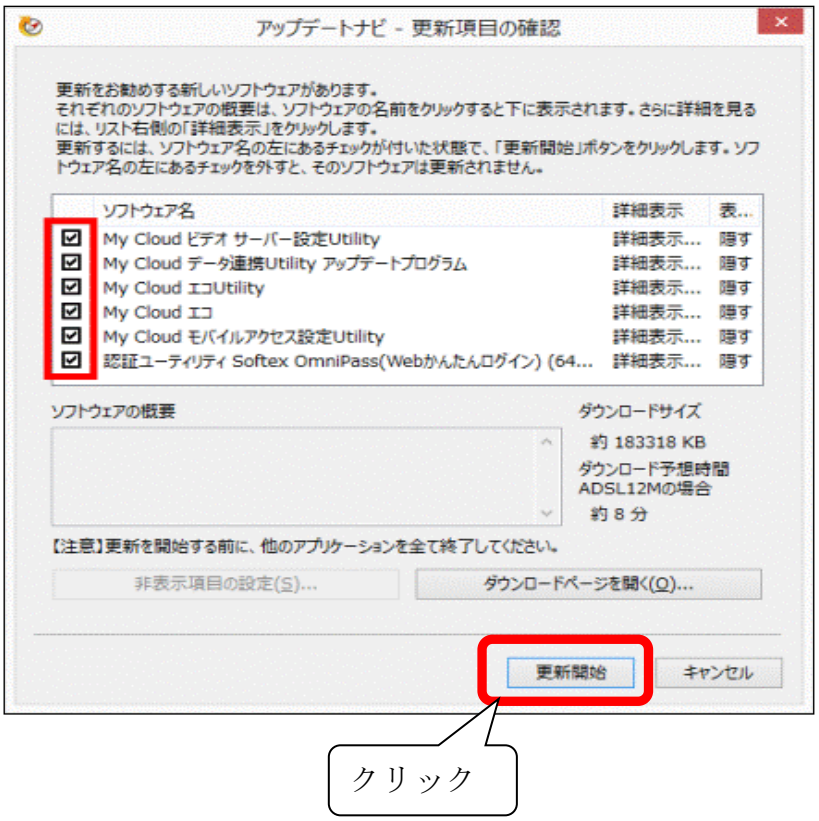


７．アイコンの一覧が表示されます。アップデートナビのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから「富士通へ最新情報を確認」をクリックします。



８．「更新情報を取得しています。」と表示されます。完了するまで、しばらく待ちます。

９．「アップデートナビ － 更新項目の確認」が表示されます。更新するソフトウェアのチェックボックスにチェックが付いていることを確認します。（「ＭｙＣｌｏｕｄ…」から始まるプログラムは必ずチェックしてください）「更新開始」をクリックします。



１０．更新が終了しましたら、再度ブルーリターンＡを起動し、作業を行ってください。

【その２　富士通製以外のパソコンの場合】

１．Ｗｉｎｄｏｗｓスタートメニューを表示させます。（デスクトップ画面が表示されている場合は、キーボード上の マークを押下します。）

２．キーボード上の キーと「Ｘキー」を押下し、画面左下の機能メニュー一覧からコントロールパネルを選択します。

３．「プログラムのアンインストール」を選択し、プログラムの一覧を表示させます。

４．一覧のなかから「s Medio AirGet」という表示を探します。
※「s Medio AirGet」のプログラムを使用しない場合は、手順５に進みます。
「s Medio AirGet」のプログラムを使用している場合は、手順７に進みます。

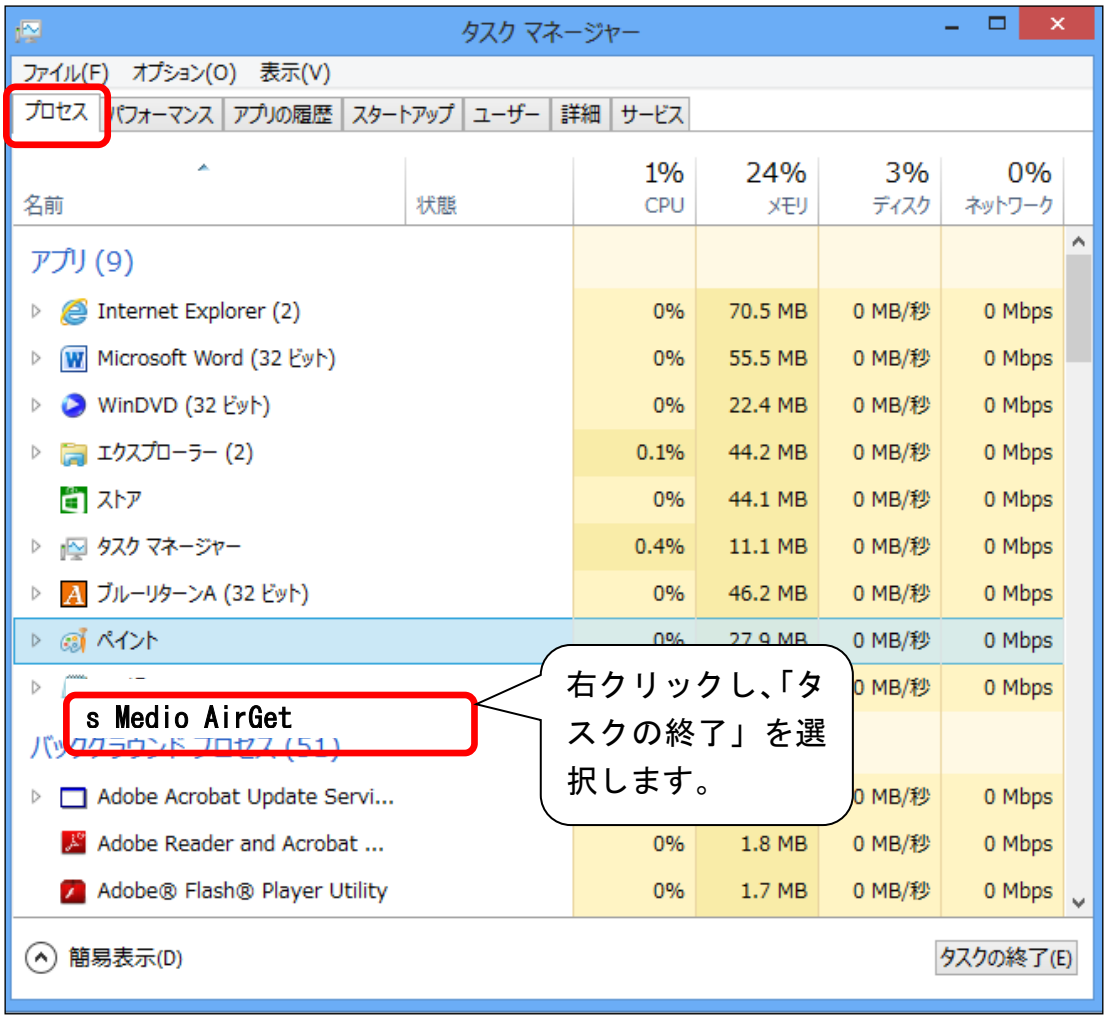
５．「s Medio AirGet」のプログラムを使用しない場合

「s Medio AirGet」をアンインストールします。（「s Medio AirGet」の表示をダブルクリックし、アンインストールを選択します。）

６．パソコンを再起動後、ブルーリターンＡの操作をお願いします。エラーが解消されない場合は、再度ご連絡ください。

７．「s Medio AirGet」のプログラムを使用する場合
タスクマネージャを起動します。（キーボード上の「Ctrl キー」、「Alt キー」、「Del」キー）

８．タスクマネージャの「プロセス」を選択し、「s Medio AirGet」を右クリックし、「タスクの終了」を選択します。



９．タスクマネージャを終了し、ブルーリターンＡを改めて操作します。